ISSN　1340-2609

兵庫県立歴史博物館紀要

慶　界

第　32　号

大坂加番と藩政－播磨宍粟山崎藩本多家の場合－　藪田　貫　1

【資料紹介】

天正八年八月十二日付け但馬国出石郡赤花村検地帳写　前田　徹　27

【展覧会記録】

2019年夏季特別企画展
「へんがおの世界－笑う門には福来たる！－」の開催について　藁科　宥美　98

2021（令和３）年３月

兵庫県立歴史博物館

【資料紹介】

天正八年八月十二日付け但馬国出石郡赤花村検地帳写

前田　徹

はじめに

一昨年、天正八年（一五八〇）十月二十四日付け播磨国飾東郡緋田村検地帳写（以下「緋田帳」と略す）を紹介させていただいた。[1] この検地帳は織田政権期の稀少な検地帳であり、また一村レベルで検討可能な帳簿として、織田政権段階の検地制度のあり方を示す極めて重要な史料といえる。

さて、この緋田帳は羽柴秀吉が作成させた検地帳としても大きな意義がある。しかしながら、同様に織田政権下で秀吉が作成させたとみられる検地帳であり、かつ緋田帳より若干早い年紀を持つものが別にもう一つある。同じく天正八年の年紀を持つ、同年八月十二日付け但馬国出石郡赤花村検地帳写（以下「赤花帳」と略す）がそれである。赤花帳は、わずか二ヶ月ではあるが、播磨の緋田帳に先行する羽柴検地帳の写しである。存在自体は『但東町誌』[2]の紹介があり比較的早くから知られていたものの、『兵庫県史』史料編には未収であり、近年まで十分な紹介がなかった。このため、小林基伸氏[3]や宿南保氏[4]による概要的な紹介や論及はあったものの、長らく本格的な検討がなされないままとなっていた。

しかし近年、赤花帳の記載地内である豊岡市但東町奥赤にお住まいの小西信義氏によって全文翻刻がなされた。[5] 小西氏の翻刻は最善本と目される能勢本を全文翻刻したものであり、併せて紹介されているふんだんな奥赤の地域情報とともに、研究上の意義は極めて高い。この紹介によって赤花帳もようやく本格的な検討が可能となる段階にいたったといえる。

ただし、小西氏の翻刻には若干の重複や脱漏、あるいは活字上での検地帳の体裁の表現など、なお一定の校訂を要する部分が見受けられる。また、赤花帳の書誌的情報や、諸本間の関係なども、なお整理しておくべき余地がある。そこで本稿では、小西氏の紹介に屋上屋を重ねることとはなるが、あらためて全文を翻刻するとともに、赤花帳の概要の紹介と史料的性格をめぐる基礎的整理をおこなっていきたい。

一　諸本と校異

（1）三つの写本

赤花帳は、但馬国出石郡赤花（現豊岡市但東町赤花・奥赤）の検地帳である。赤花帳は、現在三つの写本の存在が確認できる。まずはこの三つの写本の概要をまとめておく。

Ⓐ赤花区旧蔵本（以下「ア本」と略す）

縦二四．四×横一六．九（cm、以下寸法の単位は全て同じ）。共紙の表紙・裏表紙各一丁を含めて全三六丁。記載されている筆数は全四六五筆である。

ア本は江戸期の写しであり、地元自治会の赤花区に伝来したものであったが、昭和五〇年代までに但東町立歴史民俗資料館へ寄贈され、現在は同館の後継館である豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の所蔵となっている。但東町指定文化財となっており、合併後の現在は豊岡市指定文化財である。『但東町誌』に存在が紹介されており、小林氏の検討もこの本に依っている。

Ⓑ京極憲州氏写本（以下「キ本」と略す）

縦二四．五×一七．五。共紙の表紙・裏表紙各一丁を含めて全三七丁。記載されている筆数は全四八一筆で、ア本より多い。これはア本に見開き一箇所の写し漏れがあるためである。

キ本は奥書より一九七一年に京極善州氏が次に述べる能勢家所蔵本を写したものであることがわかる。また、鉛筆書きでア本との校合がある。京極氏は赤花近隣の中山地区の寺院住職で、一九九五年に同氏より日本・モンゴル民族博物館に寄贈された。

Ⓒ能勢家所蔵本（以下「ノ本」と略す）

先述のように二〇一五年に小西信義氏が全文を翻刻したもので、部分的に写真も紹介されている。存在自体は『但東町誌』でも紹介されていた。遺憾ながら筆者は現在未調査であり、詳細は不明とせざるをえない。キ本の祖本であり、赤花区主楼谷出身で現在京都府在住の能勢家の所蔵である。

（2）写本間の関係・校異

ついで、これら三つの写本の相互関係について略述しておきたい。まず、Ⓑキ本はⒸノ本を筆写したものであり、全体に鉛筆書きでⒶア本との校合が施されている。

相互に比較すると、Ⓐにのみある情報、Ⓑ・Ⓒにのみある情報がそれぞれあることがわかる。まず、Ⓑ・Ⓒの一七丁ウラは等級記載が全て欠落しており、Ⓐのみで等級が確認できる。この点は、ⒸからⒶへの写しはできないことを示している。[6] 一方、Ⓑ・Ⓒの三三丁ウラと三四丁オモテの見開き分がⒶではすべて写し漏れの欠落となっている。一丁の裏表ではなく、二丁にまたがる見開きが欠落していることは、写本の落丁ではなく転写時の写し漏れと判断してよい。この点からは、ⒶからⒸへの写しも不可能であることになる。まずはこれらの点から、ⒶとⒸは、どちらかがどちらかの祖本になる関係にはなく、別系統の写本と判断しておきたい。

写しの時期については、三本ともに外題が「赤花始り之水帳」とある点に注意したい。天正八年に近い時期の筆写であればつけないであろう表題といえるためである。このほか書風も勘案して、Ⓐ・Ⓒはいずれも江戸中期ごろ以降に、赤花村内に存在していた祖本から別々の時期に筆写されたものと考えておきたい。

さて、ⒶとⒷを比べると、かなりの異同がある。詳細は後掲の表1赤花帳校訂表を参照されたい。校訂表に一定の注記を加えたように、分米高と斗代

との整合性や、写し漏れの多寡など、重要度の高い異同からみると、全体的にはⒷの方が善本と判断できる。ただし、Ⓑの祖本であるⒸには、見開き左右の上部隅にやや大きめの欠損部があり、この部分に記された情報はⒶによることとなる。また、すでにみたように一七丁ウラの等級など、Ⓐは写し取っているがⒷ・Ⓒでは漏れている箇所もある。そのほか、カギ線や○印などの合点類、「太郎右衛門」などの人名を省略せずに表記する点などは、Ⓐの方が原本情報の原型をとどめている可能性も考えられる。このように、個別の記載についてはⒶによるべきかとみられるものもかなり多い。したがって、やはり三本全てを併せて校訂を行わなければ、原本に近いテキストは得られないこととなる。

しかしながら、現在Ⓒについては筆者は調査できていない。このため本稿では、その良質の写しと判断できるⒷを底本に、Ⓐとの校合を加えた上で、小西氏によるⒸの翻刻も参考にしながら紹介する。ただし、三本間の異同の中には、いずれを是とすべきかにわかに判断し難いものも多い。そこで本稿の翻刻では、やや煩雑とはなるが、ⒶとⒷとの異同については漢数字（一、二など）か大字（壱、弐など）かの違い以外はすべてを記入し、さらにⒸとの異同を必要に応じ参考として記入することとした。個々の異同の妥当性に対する筆者の判断については表1の注記を合わせて参照されたい。

二　概要と特徴

（1）地理的記載範囲

つぎに、赤花帳の概要をまとめておく。まず、記載されている範囲は、近世の口赤花村、中赤花村、奥赤花村[7]の範域にほぼ相当するとみられる。ただし、完全に一致するかどうかは検討が必要であるので確認しておきたい。

赤花帳の記載地名については、明治十八年（一八八五）六月の兵庫県下但馬国出石郡赤花村耕宅山林図面[8]と、小西信義氏が紹介している大正年間ごろかとみられる奥赤村字限図[9]（以下この二点を合わせて「近代地籍図類」と略す）によってかなりの量が現地比定できる。これらの近代地積図類では、地片をある程度集積したものに付けられるいわゆる小字地名と、小字地名をいくつか集積した範囲に付けられる中字とでも呼ぶべき地名とが重層的に記載されている。八四頁後掲の地図には、まず近代地籍図類の中字をやや大きめの文字で全て落とした上で、小字については、赤花帳の記載と合致・近似するもののみを小さな文字で示した。この地図で概観すると、現在の赤花・奥赤地区のうち、西北部の中字カズエ・カズエ北側付近には赤花帳の記載と対応する小字がない。この一帯は近世では口赤花村の西部とみられるが、天正八年の段階では赤花村に含まれていなかったなどの理由で、赤花帳の収録対象とはなっていないと推察しておきたい。

（2）基本データと織田検地帳としての特徴

さて、キ本を底本に、他本と校合しつつ赤花帳の一筆ごとの記載を集計すると、全四八一筆で、名請人数は、名請人がないものを含めて三八件ほどである。ただし、たとえば「太衛門」と「太郎衛門」、「太郎右衛門」など、同一人物とみなすべきか否か判断に迷う記載も散見される。また、同名で別人が記載されている可能性も考慮する必要がある。したがって、名請人数は参考程度の数値としておきたい。

また、末尾には、「三百九拾二石壱斗九升八合」と記されており、帳簿全体を集計した村高と理解できる。ただし、赤花帳に記載された一筆一筆の数

値から実際に算出すると、三七六石九斗四升六合となり、奥書記載値に比べて一五石二斗五升二合少なく、誤差が大きい。

記載様式は、おおむね半丁あたり八筆で比較的整然と記され、地片一筆ごとに①字名、②面積、③等級、④名請人、⑤分米高の記載順が主流である。項目名としては前稿でみた播磨の緋田帳と共通するが、④名請人と⑤分米高の順序が入れ違っている。ただし、後述する分冊二つ分は①字名、②面積、③等級、④分米高、⑤名請人となっており、これは緋田帳と一致する。項目の順序の違いだけではあるが、赤花帳がいまだ様式の統一が不十分な過渡的段階の帳簿であることがうかがえよう。

また、名請人名には緋田帳同様に各人の居住地とみられる地名が付くものが多いが、これらは地図と突き合せると、おおむね赤花村内の小村（集落）名と理解可能である。後述する分冊の状況と併せて、表2に、小村名のうち明治地籍図と合致・近似するものを示しておくので参照されたい。

なお、ここに示したもののほかにも比定地不明の小村名がある。ただし、明白に赤花村外の村名・地名と判別できるものはみあたらない。前稿でみた緋田帳は緋田村の住人より他村からの入作者の方が多いというやや極端な特徴をみせるが、この点は赤花帳と大きく異なっている。これは、平野部に立地し、村域が比較的小さな村落である緋田村と、山間部に立地し、村域が広大な赤花村という地理的立地の違いが大きく影響していると理解しておきたい。

ついで、前稿でも一定の整理を行ったが、緋田帳など織田政権期の検地帳一般と比較する上で重要となる赤花帳の特徴について、小林氏や宿南氏の成果も踏まえながらあらためてまとめておきたい。

まず、一反は三六〇歩で作成されている。これは前稿でみた緋田帳をはじめとする、織田政権期の検地帳類と共通している。

斗代については上田一石三斗で、以下中田一石二斗、下田一石一斗の一斗下がりが標準となる。こうした近世標準に近い高額の基準斗代設定も、具体の斗代値に若干の高低はあるものの、このほかの織田政権期の検地帳全般と共通する特徴である。

ただし、下々については一石以下で一斗未満までかなりのばらつきがみられるとともに、その中には相当程度畠が含まれているとみられる。また、「ひへ」、「あつき」、「大つ」など畠作物名を記す分米高も多数みられる。これらの高はそのまま村高に合計されている。このほか、「くわの木〇本有」などといった記載も散見している。田と畠の区別は記載上では明示されておらず、斗代や作物名などから類推するほかない。畠の扱いはやはり未成熟であり、これも緋田帳と共通する特徴といえよう。さらに、赤花帳では屋敷も明示されていない。

以上簡単ではあるが、赤花帳の特徴をまとめてみた。記載様式の違いなど、一定の違いはあるものの、一反＝三六〇歩、上田一石三斗などの高額の基準斗代設定、畠の扱いの未成熟といった点は緋田帳と共通しており、総じて質的な面では同質の検地帳と判断しておく。今後、緋田帳と合わせて検討することで、羽柴検地や織田検地の実態解明が進むことを期待したい。

三　分冊と奥書

（1）分冊の存在とそれぞれの奥書

さて、赤花帳の大きな特徴は、冊子としての形態面にある。赤花帳には、一定間隔を置いて奥書や余白などの区切りが多数現れるのである。すでに宿

南氏によって全体が四部に分けられるとの指摘があり、筆者も前稿ではこれによって記述したが、正確さを欠いていたので、ここであらためて検討しておきたい。なお、以下で述べる形態上の特徴は、キ本・ア本ともに共通している。また、ノ本も小西氏の翻刻による限りではあるが、同様とみられる。

まず一例として冒頭から順にみていくと、まず一丁目が全体の表紙となり、ついで二丁オモテからはじまる一筆記載が三丁ウラまで続いた後、奥書で一旦締められる。続く四丁オモテには「あかはな之内　山祢ふミくち」と表題が記され、そのウラは白紙で、紙が変わって五丁オモテから一筆記載が再開される。さらに五丁からの一筆記載は九丁オモテまで続く。ここには奥書はないが、九丁ウラが白紙であり区切りと見なしうる。そして紙を変えて十丁オモテからつぎの一筆記載が再開される、といった体裁で続いていき、全部で奥書や余白などによる七箇所の途中区切りが確認できる。

これらの区切りは、すべて各丁オモテからとなる。すなわち、それぞれの区切りはそこで再開はすべて各丁オモテからとなる。すなわち、それぞれの区切りはそこで綴じ目を外しても独立した冊子となりうる位置にあり、中には第四丁や第二七丁のようにそのまま分冊の表紙として機能する丁もある。赤花帳は、それぞれが単独で冊子として独立可能な八つの分冊を合冊する形態をとっているのである。これら分冊の内訳を表2に示すので参照されたい。

さて、各分冊には、それぞれの小計値などを記す奥書があるものが多い。これは赤花帳の史料的性格を理解する上で重要とみられるので、各冊の奥書記載とその数値、さらにそれぞれの本文の一筆ごとの記載から算出できる数値を別途表3にまとめた。以下、表2・表3について若干踏み込んで検討しておきたい。

まず注意されるのは、奥書記載値と本文の一筆記載からの算出値とを突き合わせてみると、近似するものもあれば、誤差が大きいものもあるという点である。たとえば、第三～七分冊の奥書値（②、④、⑦、⑧、⑩）は、各冊の本文の一筆ごとの記載から算出した値と近似する。単純な計算違いや、計算表の類いを用いた換算による誤差[10]などを考慮すれば、これらの値はそれぞれの分冊の小計値と理解できよう。

また、第四分冊には「八十七所」、第五分冊に「五十八所」、第七分冊に「六十七所」との記載がある。これは、それぞれの冊に記載された筆数と理解可能である。本文の筆数と突き合せると、表2に示したように、第四分冊は実際には八六筆と一筆異なるが、第五・第七分冊は合致している。

このほか、第六分冊奥書には⑨「惣都合八十参石七斗四升弐合」とある。これは、第五・六分冊の各奥書の小計値を合計した数値（八三石二斗八升五合）と近似するとともに、両分冊の一筆記載からの算出値（八三石七斗二升七合）ともかなり近似する。分冊ごとの中間集計といえる数値である。

さらに、第一～四分冊の「惣合」として記載された値である⑥「弐百五石五斗壱升四合」と、第五～八分冊の「惣合」として記載された値である⑫「百八拾六石六斗八升四合」の合計は、村高記載値である⑬「三百九拾弐石壱斗九升八合」ときれいに一致する。また、これら四冊ごとの集計部分となる一八丁ウラと三六丁オモテの奥書には、いずれも「四口　惣合」として四冊ごとの集計値である⑥と⑫が記載されている。これらの「四口」とは、それぞれ四つの分冊の合計、と解釈できよう。

さて、こうした赤花帳の形態的特徴や奥書集計値の相互連関は、赤花帳の作成過程を推察させるものといえる。赤花帳は、まず分冊ごとに作成され、それぞれを合冊しつつ、各冊の小計、二冊ずつの中間集計、四冊ずつの合計を算出しながら、全体の総計としての村高を算出していったものと考えられ

るのである。

ただしその一方で、分冊ごとの集計値には、計算が合わない値や、解釈が難しいものもある。たとえば、第一～四分冊の中間集計・合計とみられる値（①、③、⑤）は解釈が難しい。第三分冊の奥書には、①「惣つシ（ア本「惣て」）百三石五斗弐升二合」とあるが、第四分冊の奥書にも③「惣百三石七斗五升三合」と近似する数値がある。これらは数値から第三分冊と第四分冊の中間集計値に相当するとみられるが、第三分冊の小計値として記載されている②「三十二石五升三合」と、第四分冊の小計値として記載されている④「七十石三斗四合」とを合わせた数値とは近似はするが合致しない。また、これらの一筆記載から算出した値（一〇三石四斗七升六合）とも、同様に近似はするが合致しない。さらに、①と③のどちらが全体の総計に用いられた数値なのかについても判断は難しい。

このほか、第四分冊奥書にみえる⑤「八十八石九斗八升五合」についても、第一分冊と第二分冊を合計した数値に近似するが、記載されている場所が第四分冊であり、これも第一分冊と第二分冊の中間集計値と理解してよいかどうか、にわかには判断がつき難い。

これらの点は、何度か集計作業を繰り返しながら適正な合計値を算出していったという作業過程がそのまま残ってしまった記載ともみられるのではないか。作業途中で放棄された数値まで残ってしまい、解釈を困難にしているとも考えられるのである。

このほか、第六分冊奥書にみえる「かミ数七舞」も解釈が難しい。第五分冊は四丁で、第六分冊も四丁である。どちらか、あるいは両冊を合計しても「かミ数七舞」とは合わない。ただし、先述のように第五分冊と第六分冊の一筆記載からの算出値は奥書値⑨と極めて近似する。この点を重視すれば、この紙数は誤写とみるべきかと判断しておきたい。

（2）落丁の可能性

さて、第一～四分冊の「惣合」記載値（⑥）は一筆記載からの算出値と一二石余り多く誤差が大きい。このほか、第八分冊の小計記載値（⑪）も一筆記載からの算出値に対して三石五斗ほど多く、これも誤差がある。さきに帳簿末尾に記載された村高と、一筆記載からの算出値とが合わないことを指摘したが、この誤差はこれらの分冊ごとの集計値のズレに要因があるとみられるのである。

こうしたズレの要因として、ここでは現存の写本には乱丁や落丁がある可能性も考えておきたい。表3を通覧すると、分冊ごとの奥書小計値が一筆記載からの算出値と近似する第三・四・五・六・七分冊についてはひとまず大きな問題はないと判断できよう。したがって、それ以外の第一・二・八分冊を中心に考えてみたい。

まず、第四丁に注目する。四丁オモテには表題として「あかはな之内　山祢ふミくち」と記載されており、ウラは白紙である。これは分冊の表紙としての役割のみを持つ丁といえる。表題の「山祢ふミくち」とは、近世の口赤花村の範域内にある小字山根付近に関する分冊と解釈可能である。しかしながら、これに続く五丁オモテ以降の第二分冊には、「いしかわら（石川原）」や「ひかし（東）」など、近代地籍図類でみると近世中赤花村の範域となる地区が記載されている。小字山根付近に関する記載としては、第二丁～三丁の過半が字山根で占められており、むしろ第四丁より前の第一分冊の方が適合的である。こうした点からみると、現状の第四丁は綴じ順が誤っており、本来は第二丁の前に綴じられるべきものと考えられるのである。

また、三丁ウラの第一分冊の奥書にも注目したい。ここには、「かミかす三まい」とある。先にみたように、第四丁を第二丁・第三丁の表紙と考えると、ひとまずはちょうど紙数三枚となる。やはり、第四丁は第一分冊の表紙として、本来は第二丁の前に綴じられていたとみると理解しやすい。

さて、こうした乱丁を補正した上で、全体の丁数について考えておきたい。まず、三六丁ウラには、赤花帳全体の奥書として「すミ付三拾五まい有」と記載されている。これに対してキ本の丁数は、裏表紙で、京極氏の奥書のみが記される最終三七丁目を除くと三六丁となる。ただし、これには巻頭の表紙一丁が含まれる。先述のように現存三本の表紙には「赤花始り之水帳（ア本は「写」とあり）」と原本そのままとは考えがたい表題が付けられている。これは原本情報をそのまま転写しているとみられる「すミ付三拾五枚」からは除くべきであろう。したがって、この第一丁を除くと、奥書の紙数と合致することになる。

ただし、この内には、分冊の表紙としての役割のみを持ち、一筆記載がない第四丁が含まれている。仮に表紙と同様にこれも「すミ付」には含まれないとみれば、やはり一丁分不足することとなる。この場合、第一分冊の奥書に「かミかす三まい」とある内からも分冊表紙にあたる第四丁を除く方が自然であり、第一分冊に一丁落丁があることになる。

しかし、この仮定には一つ難点がある。先に解釈が難しいとした第四分冊奥書の⑤「八十八石九斗八升五合」が、第一分冊と第二分冊を集計した数値（八九石九斗九升六合）に近似する点である。むしろ一筆記載の集計値の方が多く、ここに一丁落丁があるとみるには不利な要素となる。ただし、第一～四分冊の小計値となる第四分冊奥書の⑥「惣合弐百五石五斗壱升四合」は、一筆記載集計値（一九三石四斗七升二合）より一二石余りとかなり多く、やはり第一～四分冊のどこかで落丁がある可能性は残る。

さらに、すでに述べたように第八分冊についても、奥書記載値と一筆集計値とに三石五斗余の誤差がある。第五～八分冊については、これ以外の分冊は奥書記載値と一筆集計値は近似しており、問題があるとすればやはり第八分冊と考えるべきであろう。

このように、奥書集計値と一筆記載値のズレからみていくと、第一～四分冊のうちか第八分冊かのいずれかに落丁がある可能性が考えられる。数値のズレの大きさからみると、やはり第一～四分冊の方が可能性は高いとみられるが、現状ではいずれに落丁があるのかを確定することは難しい。いずれにせよ、キ本とその祖本であるノ本についても、一丁程度の落丁がある可能性は踏まえておくべきと考えておきたい。

おわりに

小稿では天正八年の但馬赤花帳について、ごく簡略にではあるがその概要と史料的性格を紹介した。底本としては、本来はすでに小西信義氏が紹介している最善本の能勢本（ノ本）を用いるべきであるが、昨年来のコロナ禍もあって調査未了のため検討できなかったことはお詫びしたい。こうした不十分な紹介ではあるが、赤花区旧蔵本（ア本）と京極本（キ本）とを校合して、一定程度原本テキストを推察しうる状態となるよう翻刻を行ってみた。

また、先に紹介した播磨緋田帳と同様に、質的な面では織田政権期の検地帳に共通する特徴を持つ帳簿であることを簡略にではあるが整理した。そのほか、赤花帳固有の大きな特徴として、全体が八つの分冊を合冊する形態となっており、まずは分冊ごとに作成されていったとみられること、全体の村

高は各分冊の小計値を合算していきながら算出されていること、一丁分の落丁の可能性も考えられることなどを指摘した。今後は、こうした基礎作業を踏まえた上で、赤花帳そのものの検討や、緋田帳・赤花帳からみえる織田政権期の検地の特質の理解を深めていく必要がある。別稿[11]にて一定の考察を期したい。

【註】

（1）拙稿「天正八年十月二十四日付け播磨国飾東郡緋田村検地帳写」（兵庫県立歴史博物館紀要『塵界』三〇号、二〇一九年）。以下「前稿」と略す。

（2）但東町誌編さん委員会編、一九七六年。

（3）兵庫県立歴史博物館総合調査報告書Ⅳ『出石郡』（一九九三年、小林基伸執筆分）。以下小林氏の指摘はすべてこれによる。

（4）宿南保『但馬の中世史』（神戸新聞総合出版センター、二〇〇二年）。以下宿南氏の指摘はすべてこれによる。

（5）小西信義『奥赤考』（自費出版、二〇一五年）。以下小西氏の成果はすべてこれによる。

なお、註（1）前掲拙稿執筆段階では不勉強から小西氏の成果を知り得ておらず、校正段階で石原由美子氏のご教示によりようやく知ることができた。このため前掲拙稿では小西氏の成果を紹介できていない。非礼を深くお詫びし、ご海容を願いたい。

（6）このほか、Ⓑの三丁ウラは字名が欠落しており、Ⓐで確認できる。ただし、この部分はⒸの小西氏翻刻では「〇（読めずの意味）」として翻刻されており、Ⓒには文字がある可能性がある。

（7）平凡社日本歴史地名体系『兵庫県の地名』一（一九九九年）により、寛文六年（一六六六）に領主小出家の分知に伴って口赤花村と中赤花村が分立し、同年までには奥赤村も成立していたことがわかる。

（8）豊岡市立日本・モンゴル民族博物館蔵。赤花区旧蔵とみられる冊子で、共紙の表紙を含めて全三四丁。寸法は四八．三×三三．三。

（9）神戸地方法務局豊岡支局蔵。

（10）計算表の類いを用いた換算については、中口久夫「太閤検地初期の計算術」（『太閤検地と徴租法』、清文堂出版、二〇一二年）、今野真「太閤検地の土地把握と計算・記述能力」（上）（『織豊期研究』一四、二〇一二年）を参照。

（11）『織豊期研究』に投稿予定。

【付記】

本稿のための原本調査にあたって多大のご協力をいただいた豊岡市立日本・モンゴル民族博物館、及び同館学芸員の伊崎文彦氏に篤くお礼を申し上げる。

また、本稿は二〇二〇年九月一五日（火）の織豊期研究会例会報告（於：名古屋市ウインク愛知とオンライン開催）の一部である。慫慂いただいた藤田達生氏、および当日貴重なご意見をいただいた参加者各位に篤くお礼を申し上げる。

但馬国出石郡赤花村検地帳写　翻刻

〔凡　例〕

・底本にはキ本を用いた。

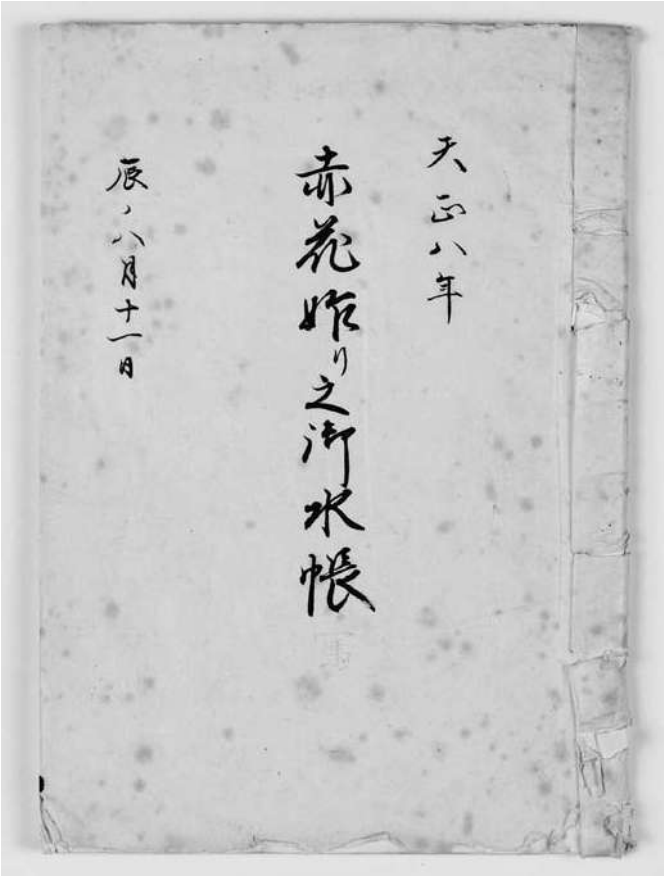
・ア本との異同は、該当する文字列の下に「　」で示した。ただし、対応する記述がない場合は「―」と表記した。また、漢数字か大字かの違い（「一」と「壱」など）は記入していない。

・ノ本との異同は、該当する文字列の下に『　』で示した。ア本同様に、対応する記述がない場合は『―』と表記し、漢数字か大字かの違いは記入していない。

・ア本との異同については、漢数字か大字かの違い以外は全て記入した。ノ本との異同については、校訂者が必要と認めたもののみを示した。後掲する表1「赤花帳校訂表」も合わせて参照されたい。

・そのほか、校訂者が必要と認めた注記は該当する文字列の脇に（　）で示した。

（一丁オモテ〔表紙〕）



天正八年

赤花始り之御水帳「写」

辰ノ八月十一日

」

（一丁ウラ・二丁オモテ）

山祢「山根」
壱畝拾弐「拾八」歩　下々　多中　ひへ　八升
同
三畝　中　山祢　三斗六升
同
拾八歩　上　多中　六升五合
同
壱反　中　同人　壱石弐斗
同
壱反　下々　同人　五斗
同
弐畝　下々　同人　壱斗六升
同
壱畝　下　山祢　壱斗壱升
同
壱反「壱反壱畝」　下々　同人　六斗五升
」

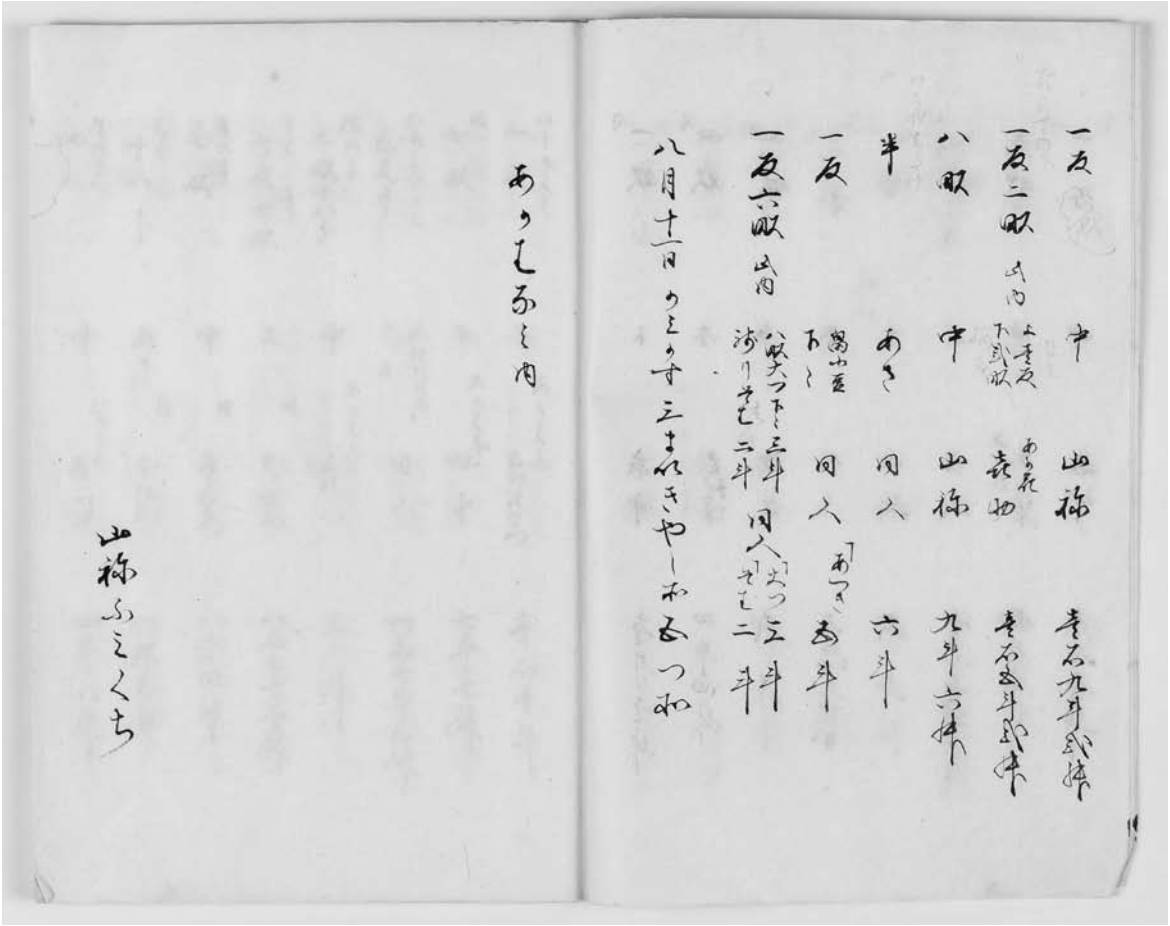
（丁裏白紙）
」

（二丁ウラ・三丁オモテ）

同　六畝　下々　弥八郎　弐斗
同　弐畝　下々　田中　八升
同　弐畝拾八歩　下　衛門　弐斗七升五合
同　六畝　下　山祢　六斗六升
同　三畝　中　同人　三斗六升
同　一反一畝　下々　同人　九斗九升
同　一反二畝　下　多中　壱石三斗弐升
同　一畝十八歩　　山祢　壱斗六升五合
」

同　一畝　下　多中　壱斗壱升
同　四畝　下　きんノくら　わき坊『五観坊』　四斗四升
同　六畝　下々　同「丁」　京善　弐斗
同　十二歩　下　同人　三升六合
同　四畝　下々　「あつき」　山祢　弐斗
か『う』ちてん　九畝　上　同人　壱石壱斗七升
同　二畝　中　あか花　さうは（てカ）『む』ん　弐斗四升
同　一□「反」　中　多中　壱石壱斗「一石二斗」」

（三丁ウラ・四丁オモテ）



「同」
一反□□「六畝」　中　山祢　壱石九斗弐升
「なわての下」『○』　此内上壱反「二畝下」　あか花「赤花」
一反二畝　下弐畝「残而上」　喜助　壱石五斗弐升
「同」『○』
八畝　中　山祢　九斗六升
「かちやはたけ」『○』
半　あさ　同人　六斗
「同」『○』　畠小豆「畠あつき」「あつき「一」」
一反　下々　同人　五斗
八畝大つ下々三斗　「大つ「一」三斗」
一反六畝　此内残りそは二斗　同人　「そは「一」二斗」
八月十一日「一」　かミかす三まいきやし所五つ所
「八月十一日」

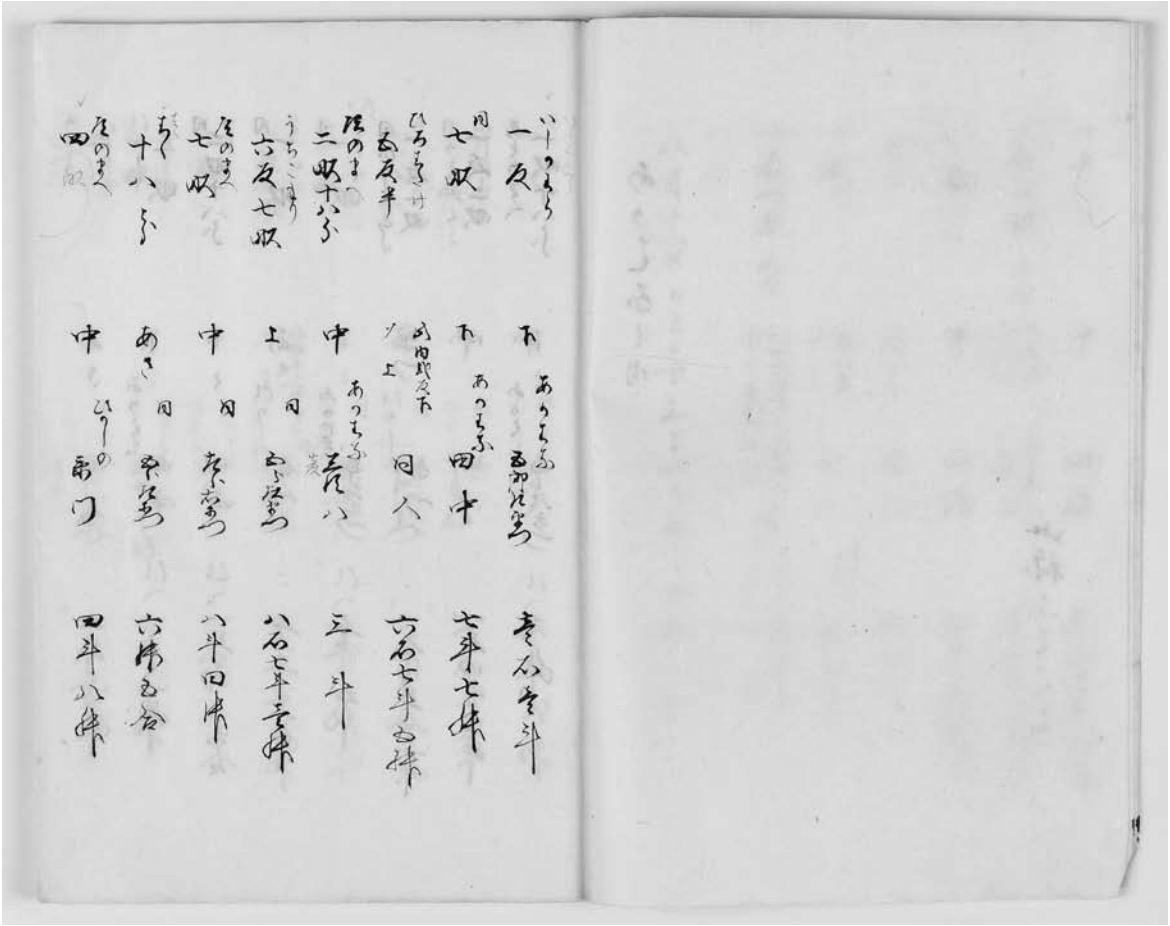
あかはな之内

山祢ふミくち

」

」

（四丁ウラ・五丁オモテ）



いしか「く」わら　　あかはな
一反　　下　五郎左衛門　　壱石壱斗
同　　あかはな
七畝　　下　田中　　七斗七升
ひろわた「ひろはたけ」　　此内弐反下
五反半　　〆上　同人　　六石七斗五升
道のまへ　　あかはな
二畝十八歩　　中　彦八　　三斗
うちこ「ご」もり　　同
六反七畝　　上　五郎左衛門　　八石七斗壱升
道のまへ　　同
七畝　　中　太郎右衛門　　八斗四升
はし　　同
十八歩　　あさ　五郎左衛門　　六升五合
道のまへ　　ひかしの
四□「畝」　　中　衛門　　四斗八升
」

（丁裏白紙）

」

（五丁ウラ・六丁オモテ）

かきう□「かきうち」
二□「畝」
ひかし
三畝
同
二畝十八歩
同
一畝
同
一畝
同ひかしのした
一反一畝
同かわのはた
一反二畝
ゑとのまへ
一畝十八歩

同
一畝
東竹の「か」した
一反『八畝』
竹の「が」はな
十八歩
竹のした「と」
八畝
よと口
一反七畝
よと
一反
いまミや
七畝
いまミや「同向」
一□「反」

あさ　同人　二斗六升
あかはな
下「下々」田中　「○」ひへ一斗一升
下々　田中　「○」ひへ一斗弐升五合
ひかしの
あさ　衛門　壱斗三升
あかはな
下々　五郎左衛門「○」ひへ壱斗
ひかしの「ひかし」
衛門「上」　衛門　一石四斗三升
中　田中　一石四斗四升
あかはな
下々　五郎左衛門「○」ひへ九升
」

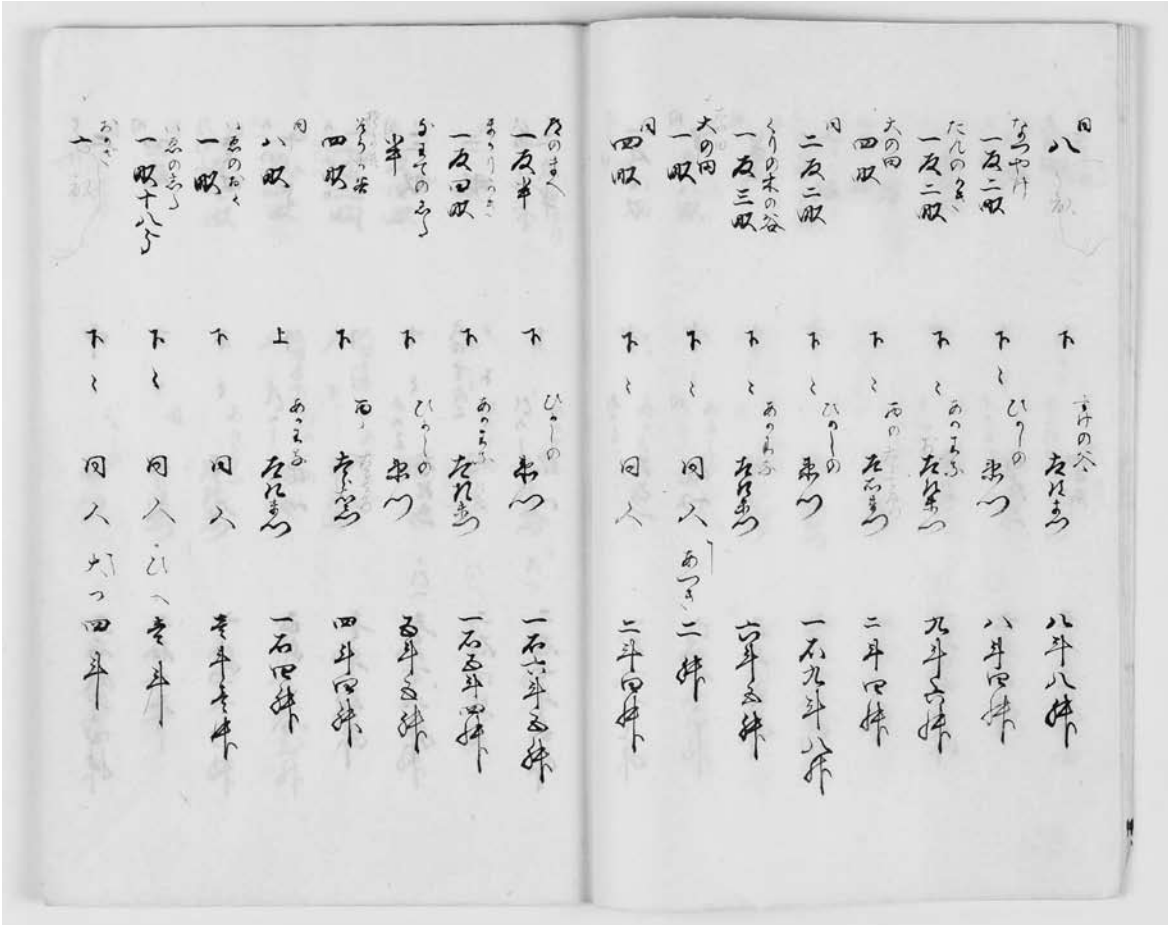
ひかしの
中　衛門　壱斗弐升
あかはな
中　やま祢　壱石弐斗
同
あさ　五郎左衛門　六升五合
同
下　田中　八斗八升
此内壱反下々　同
〆　下　五郎左衛門　一石壱斗九升
ひかしの「東の」
下　衛門　一石一斗
あかはな
下　しゆろう坊「しゆふう増」　七斗七升
あかはな「同」
下　五郎左衛門　一石壱斗
」

（六丁ウラ・七丁オモテ）

ひかしの　一畝□□□「拾八歩」　すけ谷の　あさ　太郎左衛門　一斗九升五合
同「|」　一畝　ひかしの　下々　衛門　「○」ひへ七升
同「|」　一畝　あかはな　下々　田中　「○」ひへ四升
いまみやのむかい「|」　七畝　すけ谷の　下々　太郎左衛門　四斗九升
ふるひかし「|」　一反二畝　あかはな　上　五郎左衛門　一石五斗六升
同「|」　一反　すけ谷の　中　太郎左衛門　一石弐斗
同「|」　一反八畝　あかはな　下々　衛門　一石四斗四升
同「|」　一反　あかはな　下々　太左衛門「太郎左衛門」　九斗

こき田　一反四畝　あかはな　中　太衛門「太郎衛門」　一石六斗八升
同　半　同　中　衛門　六斗
同　半　下　同人　五斗五升
同なかなわて『いなりな王て』　六畝　中　同人　七斗弐升
山のこし　八畝　下　同人　八斗八升
ふか田　一反二畝　うのかき　中　おかさこ「おかざこ」　一石四斗四升
大の田　八畝　あかはな　下々　五郎左衛門　六斗四升
大の田　三□「畝」　うへのかき　下　助五郎　三斗三升

（七丁ウラ・八丁オモテ）

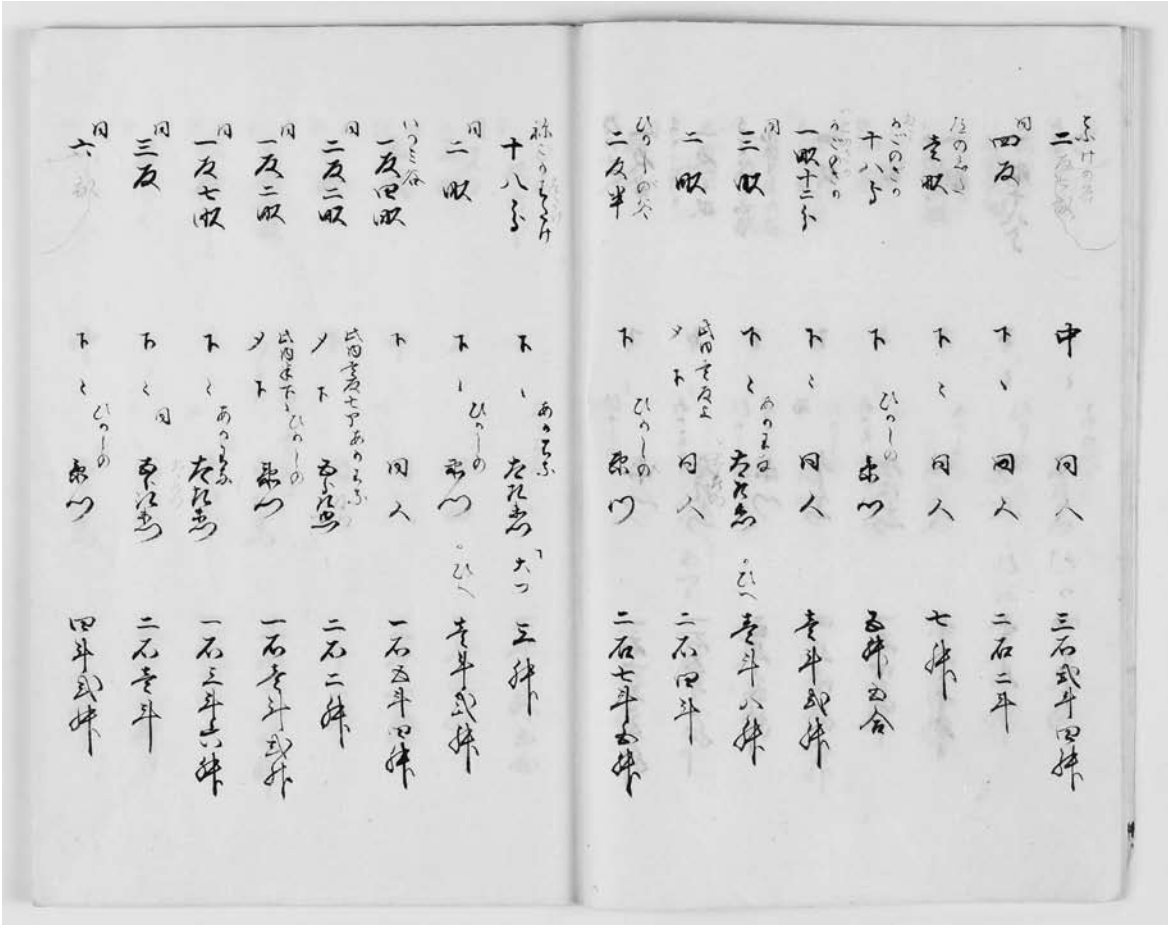


同
八□「畝」
なつやけ
一反二畝
たんのかき
一反二畝
大の田「大のた」
四畝
同
二反二畝
くりの木の谷「くりのき谷」
一反三畝
大の田
一畝
同
四畝

道のまへ
一反半
まかりかき
一反四畝
なわてのした
半
そうか谷
四畝
同「一」
八畝
いゑのおく
一畝
いゑ「とう」のした
一畝十八歩
おかさ□「おかさか」
六□「畝」

すけの谷「すけ谷の」
下　太左衛門　八斗八升
ひかしの
下々　衛門　八斗四升
あかはな
下々　太左衛門　九斗六升
西の
下々　太右衛門「太郎右衛門」　二斗四升
ひかしの
下々　衛門　一石九斗八升
あかはな
下々　太左衛門　六斗五升
下々　同人　「あつき」二升
下々　同人　二斗四升
」
ひかしの
下　衛門　一石六斗五升
あかはな
下　太左衛門　一石五斗四升
ひかしの
下　衛門　五斗五升
西ノ「西の」
下　太郎右『左』衛門　四斗四升
あかはな
上　太左衛門　一石四升
下　同人　壱斗壱升
下々「一」　同人　○「一」ひへ壱斗
下々「一」　同人　「大つ「大つ」四斗」

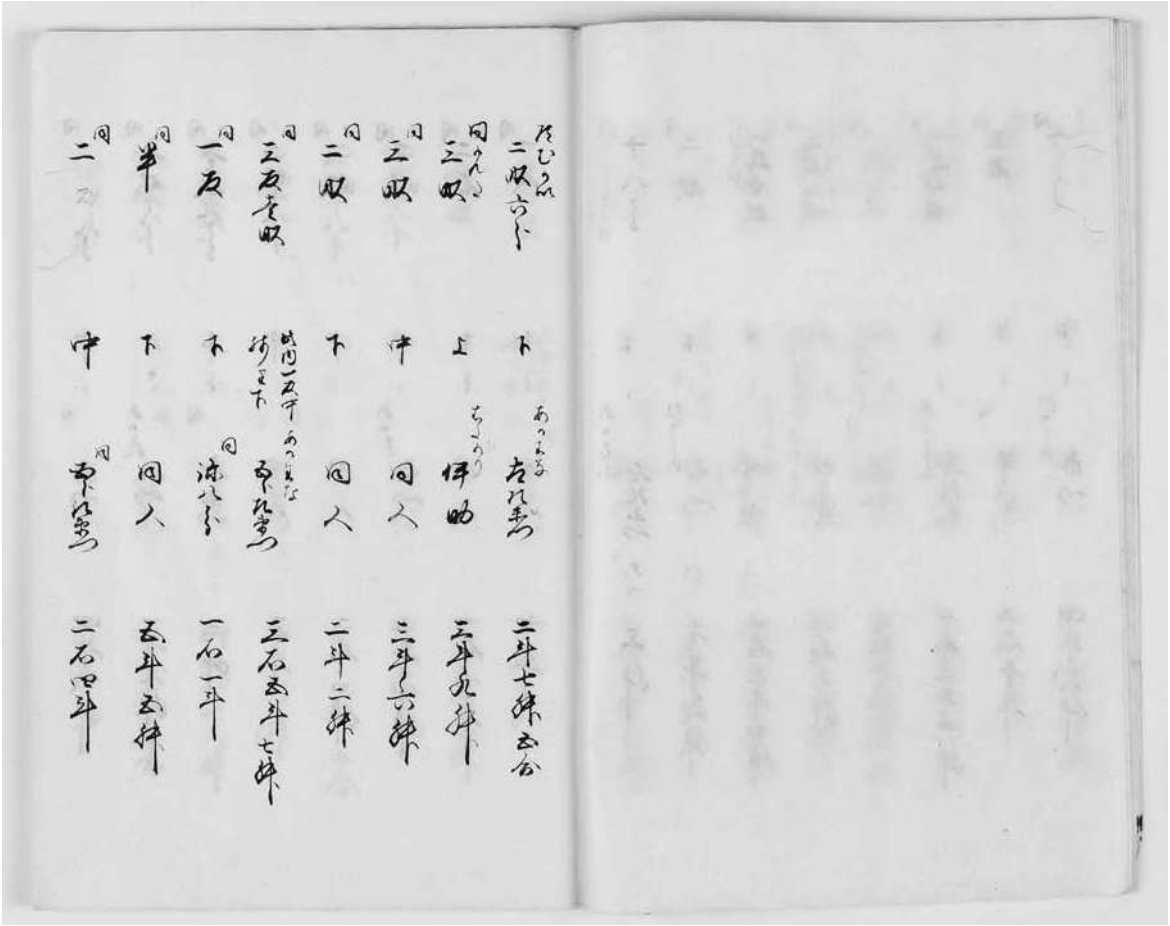
（八丁ウラ・九丁オモテ）



とふけ□□「とうけの谷」　中　同人　三石弐斗四升
二□□□「反七畝」　同　下々　同人　二石二斗
同　四反　下々　同人　七升
道のした　壱畝　下　ひかしの「ひかし」　五升五合
かご「おこ」のざか　十八歩　下々　衛門　壱斗弐升
かごのさか「かこのざか」　一畝十二歩　下々　同人　あかはな
同　三畝　下々　太左衛門　○ひへ「一」壱斗八升
二畝「反」　此内壱反上　〆下　同人　二石四斗
ひかしの谷「ひかし谷」　二反半　下　ひかしの「ひかし」　二石七斗五升
衛門　」

祢こかはたけ　十八歩　下々　太左衛門　「○」「大つ」「大つ」三升
同　二畝　ひかしの「ひかし」　下々　衛門　○ひへ　壱斗弐升
いかミ谷　一反四畝　下　同人　一石五斗四升
同　二反二畝　此内壱反七部（マヽ）　あかはな　二石二升
同　一反二畝　〆下　五郎左衛門　一石壱斗弐升
此内半下々　ひかしの「ひかし」　衛門　あかはな
同　一反七畝　下々　太左衛門　一石三斗六升
同　三反　同　下々　五郎左衛門　二石壱斗
ひかしの「ひかし」　下々　衛門　四斗弐升
六□「畝」　」

（九丁ウラ・十丁オモテ）



道むかい　あかはな　二斗七升五合
二畝六歩　下　太左衛門
同ハんた　はたか「も」り
三畝　上　伊助「伊介」　三斗九升
同　中　同人　三斗六升
三畝　下　同人　二斗二升
同　二畝　同　此内一反中残り下　あかはな「あか花」　三石五斗七升
三反壱畝　同　五郎左衛門
同　一反　下　弥八郎　一石一斗
同　半　下　同人　五斗五升
同　二□「反」　中　五郎左衛門　二石四斗
」

（丁裏白紙）
」

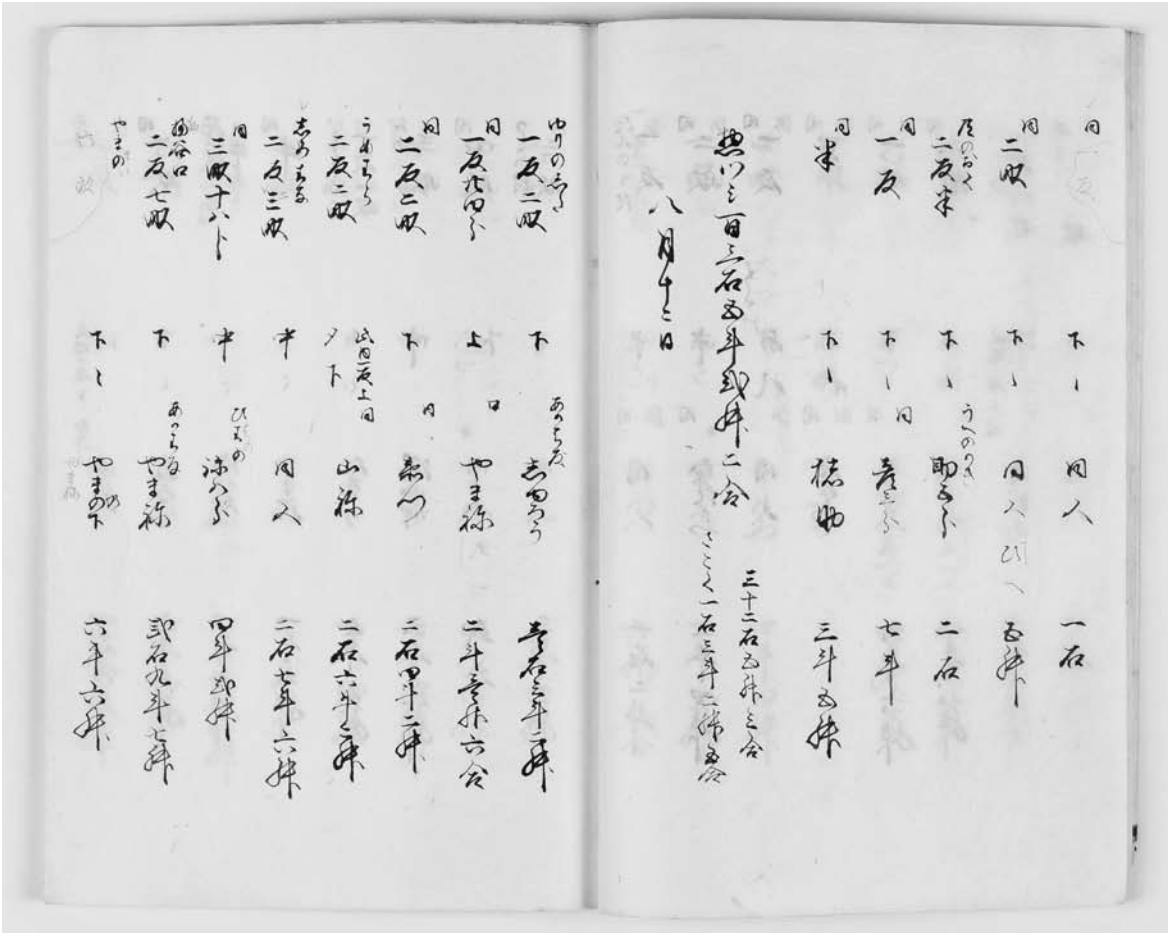
（十丁ウラ・十一丁オモテ）

同　□□□「三畝拾」八歩　中　衛門　同　四斗弐升
同　壱畝十八歩　あさ　衛門　あか花「ばな」　一斗九升五合
同　壱畝九歩　下々　太衛門「太左衛門」　三升
同　二畝十八歩　中　同人　三斗
同　二畝　中　同人　二斗四升
同　二畝　中　衛門　あか花　二斗四升
同　二反　下々　同人　一石四斗
同　一反　下々　同人　七斗

同　一反六畝　此内一反上　残り中　同　太左衛門　二石二升「斗」
同　一反二畝　上　同人　一石五斗六升
同　六畝十八歩　下々　同人　四斗
同　三畝十八歩　下々　同人　三斗八升五合
同　三畝　中　同　太衛門　三斗六升
同　二反四畝　中　同人　弐石八斗八升
同　六畝　下　同　太左衛門　六斗六升
同　□□「壱反」　下々　同人　六斗

（十一丁ウラ・十二丁オモテ）

同　□□「壱反」　中　衛門　一石二斗
同　九歩　はたけ　あさ　同人　三升弐合
同　一畝「壱畝」　同　あれ　太左衛門　「あつき四升「一」
同　一畝「「一畝」　同　あつき　衛門　あつき「あつき」四升
同　一畝「壱畝」　同「一」　あれ　太左衛門
同　四畝　大つ　下　五郎左衛門　四斗四升
同　一畝　あさ　同人
同　十八歩　同「一」　あさ　衛門　一斗三升　六升五合
」
たんのかき　同　一反　中　同人　一石二斗
同　二畝　同　中　五郎左衛門　二斗四升
同　一反　はたけ「一」　「同」　あれ　同人
同　半　同　あれ　太左衛門
同　六畝　同「一」　下　五郎左衛門　六斗六升
同　八畝　下　同人　八斗八升
同し水　一反六畝　残り下々　太郎左衛門　一石四斗
すもも　□□□「貳反八」畝　下々　同人　一石
」



同
□□「壱反」　下々　同人　一石
同
二畝　下々　同人　「ひへ」「ひへ」　五升
道のおく　うへのかき
二反半　下々　助五郎　二石
同　同
一反　下々　彦三郎　七斗
同
半　下々　猪助「介」　三斗五升

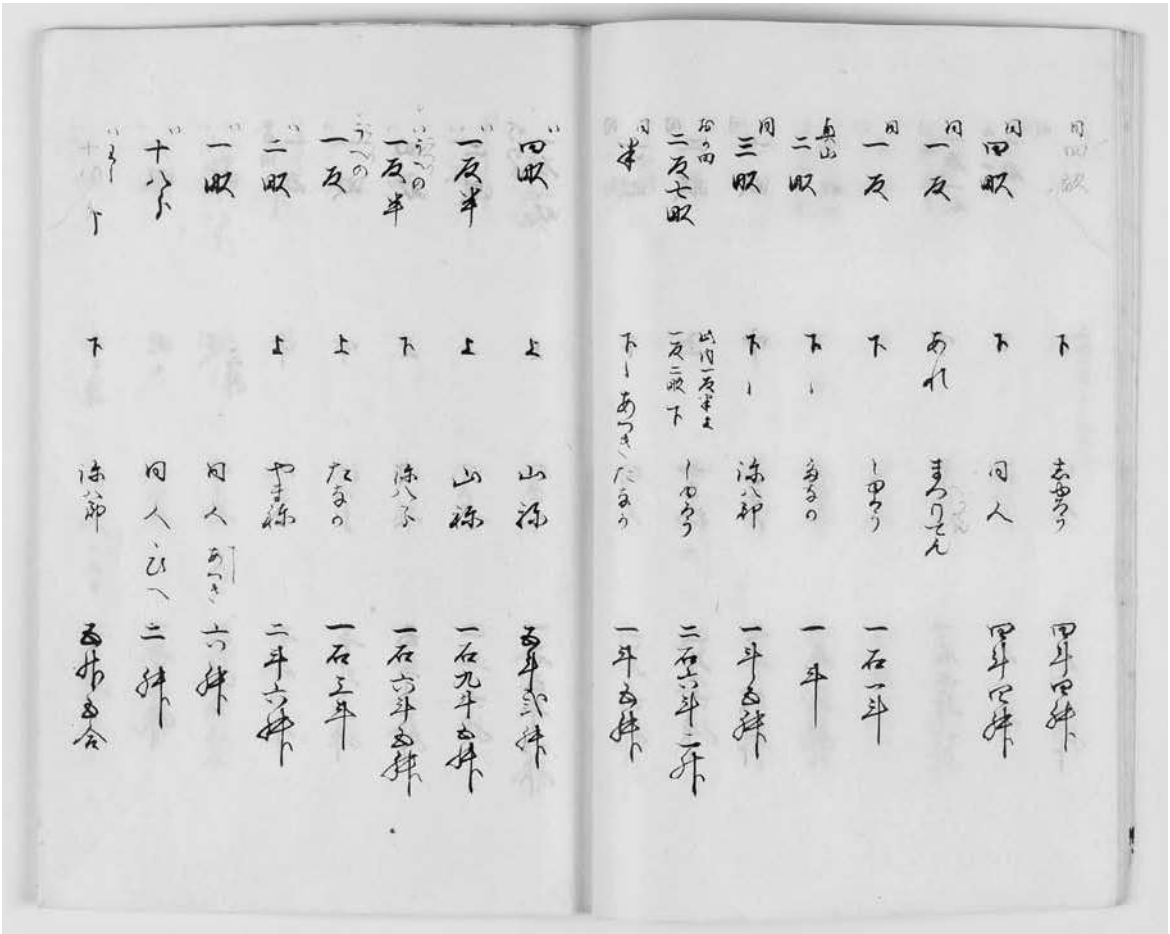
三十二石五升三合
惣つシ「惣て」百三石五斗弐升二合　さこく一石三斗二升五合
八月十二日

ゆりのした　あかはな
一反二畝　下　しゆろう　壱石三斗二升
同　同
一反「畝」廿四歩　上　やま祢　二斗壱升六合
同　同
二反二畝　下　衛門　二石四斗二升
うめわ「は」ら　此内一反上　同　山祢　二石六斗二升
二反二畝　〆下
しかはな「同」　「同」
二反三「弐」畝　中　同人　二石七斗六升
同　ひわ「は」の
三畝十八歩　中　弥八郎　四斗弐升
掃谷口「西谷口」　あかわ「は」な
二反七畝　下　やま祢　弐石九斗七升
やまの「やまそい」
□□「六畝」　下々　やまの下「やま祢下」（分カ）　六斗六升
」　」

（十三丁ウラ・十四丁オモテ）

しも□□「し□（もヵ）の村」　此内一反下々「下」五斗
□□「五反」　下　弥八郎　四石九斗
同　六畝　下々　たなか　六斗六升
西谷　半　下々　弥八郎　一斗「石」五升「斗」
同　半　下々　やま祢　一斗五升
同はうき谷『い者るき谷』　一反一畝　下々　たなか　五斗五升
おか　三畝　中　弥八郎　三斗三升
同　四畝　大つ　下　同人　「大つ」　弐斗
かミの村『うえの村』　三畝　下　同人　三斗三升
」
同　六畝　下　同人　六斗六升
同　二畝　上　やま祢　二斗六升
同　六畝　中　たなか　七斗弐升
むかいたいら「ち」　二畝　下々　しゆろう「■ろう」　一斗弐升
※■は「志」と「ゆ」の合字カ。以下同じ。
同　二畝　上　同人　二斗
同おくやま　一反一畝　中　やま祢　一石二斗一升
おくやま　一反　下　弥八郎　一石一斗
同　□□「三畝」　下　同人　三斗三升
」

（十四丁ウラ・十五丁オモテ）



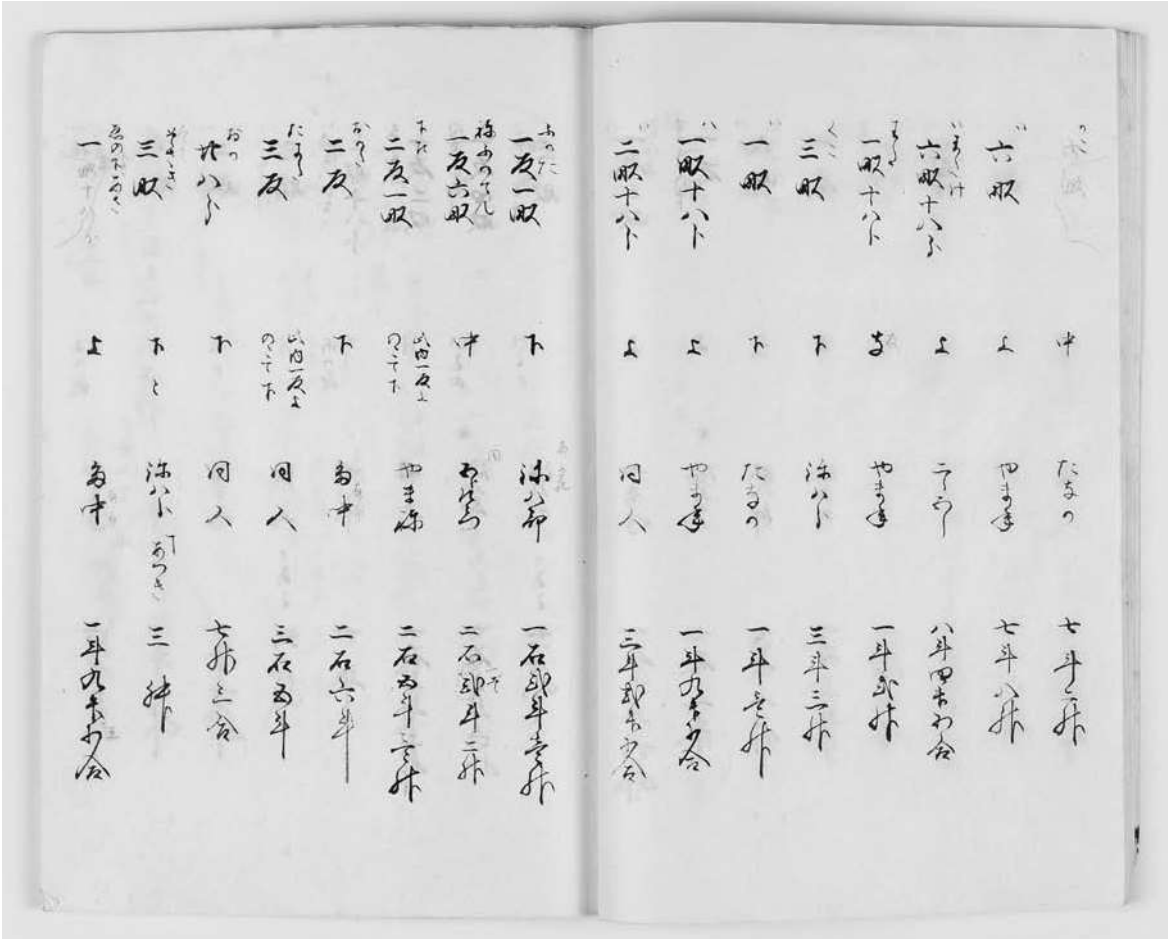
同　□□「四畝」　下　しゆろう「■ろう」　四斗四升
同　四畝　下　同人　四斗四升
同　一反　あれ　まつ「へ」りてん
同　一反　下　しゆろう「■ろう」　一石一斗
奥山「おくやま」　二畝　下々　たなか　一斗
同　三畝　下々　弥八郎　一斗五升
おか田　此内一反半上「二」
二反七畝　一反二「一」畝下　しゆろう「■ろう」　二石六斗二升
同　半　下々あつき　たなか　「あつき」一斗五升　」

同　四畝　上　山「やま」祢　五斗弐升
同　一反半　上　山「やま」祢　一石九斗五升
同う「こ」への　一反半　下　弥八郎　一石六斗五升
う「こ」への　一反　上　たなか　一石三斗
同　二畝　上　やま祢　二斗六升
同　一畝　同人　「あつき」　六升
同　十八歩　同人　○ひへ「ひへ」　二升
同はし「同」
□□□「十八歩」　下　弥八郎　五升五合　」

（十五丁ウラ・十六丁オモテ）

□「同」
□□□「十八歩」
同　一畝　あわ二升　同人　○あわ　二升
同　一畝　あさ　同人　一斗二升
前「お」田　一反　ひへ「三升」　同人　○ひへ　三升
同　一畝　中　たなか　壱石弐斗
同　四畝　中　弥八郎　壱斗「石」二升「斗」
同　二畝　上　同人　五斗二升
竹の下　一反二畝　上　同人　二斗六升
同　一反三畝　上　やまね「祢」　一石六斗九升
すかう「まかう」の下　一反　上　たなか　一石三斗
同　六畝　上　弥八郎　七斗八升
同　一反　上　たなか　一石三斗
はた　十八歩　な「反」弥八郎　六升五合
同　一畝十八歩　な「反」やまね「祢」一斗「石」九升「斗」五合
「同」　二畝　な「反」弥八郎　二斗六升
「同」　□□「二畝」　中　同人　二斗四升　」

（十六丁ウラ・十七丁オモテ）



かこ　□□「六畝」　中　たなか　七斗二升
同　六畝　上　やまね「祢」　七斗八升
同はたけ「同はこす」　六畝十八歩　上　二郎五郎　八斗四升五合
はた　一畝十八歩　な「反」やまね「祢」　一斗弐升
くこ　三畝　下　弥八郎　三斗三升
同　一畝　下　たなか　一斗壱升
同　一畝十八歩　上　やまね「祢」　一斗九升五合
同　二畝十八歩　上　同人　三斗弐升五合
」

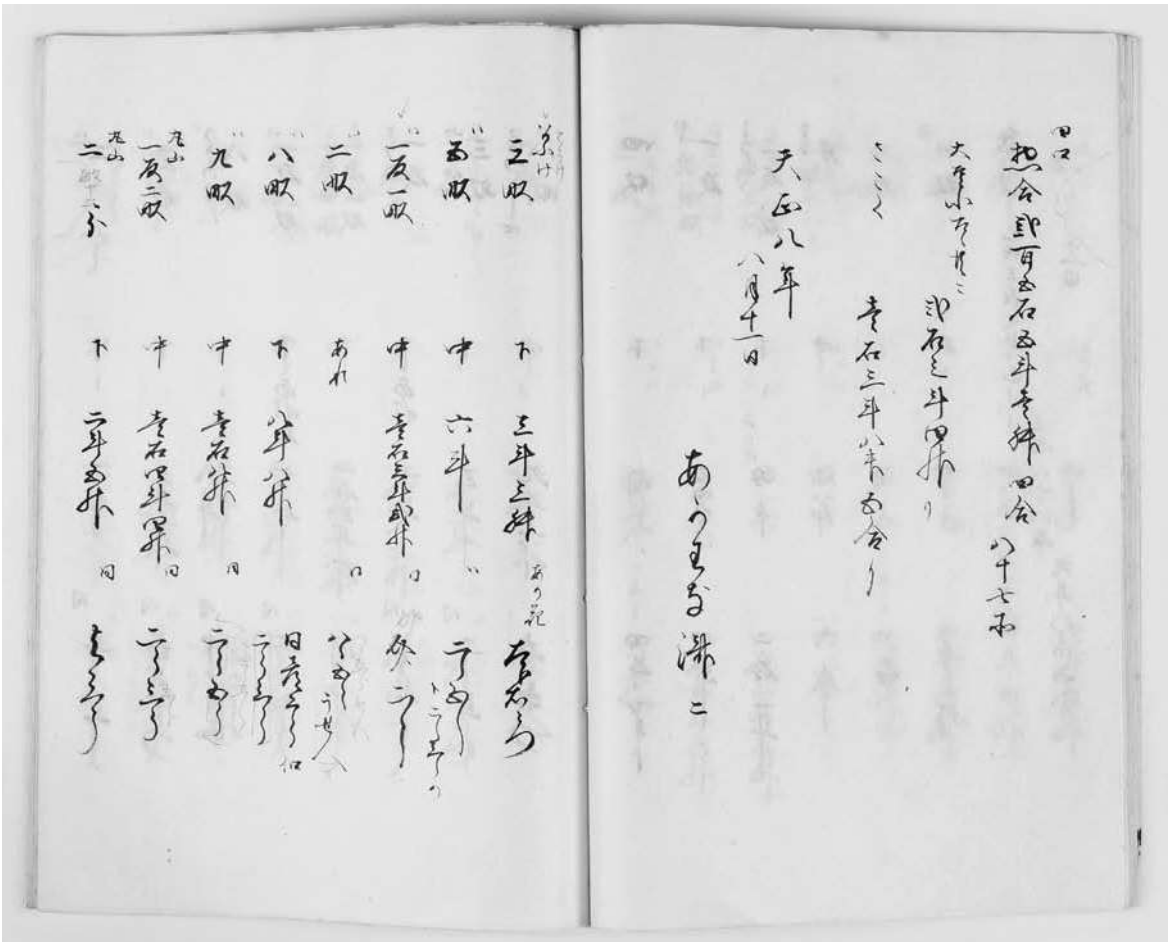
ふかた　一反一畝　下　「あか花」弥八郎　一石弐斗壱升
ねふつてん　一反六畝　中　「同」五郎左衛門　二石弐（一カ）「一」（九カ）斗二升
下た「田」　二反一畝　此内一反上
おかた「田」　二反一畝　のこて下　やま祢　二石五斗壱升
たにた　二反　下　多中「たかな」　二石六斗
おか　三反　此内一反上
そさき　廿八歩　のこて下　同人　三石五斗
ふの下「かき」　三畝　下　同人　七升三合
あさ　下々　弥八郎「あつき」　三升
一□□□□「畝十八歩」　上　多中「たなか」　一斗九升五合
」

（十七丁ウラ・十八丁オモテ）

い祢□□□「い祢かい□」　　あか花「はな」　　六斗五升
半　　「上」　やまね「祢」　　四斗五升
同　　「下々」田中「たなか」
七畝　　「あさ」同人　　二斗六升
同
二畝
こへはたけ
三畝　　「下々」同人　○あわ　九升
い祢かいのおく「い祢のおく」　あか花「あかはな」
二畝十八歩　　「下々」田中「たなか」　一斗
なわて
一反二畝　　「下々」同人　　一石三斗二升
同ゑのした　　ひわの「一」
一反四畝　　「下」　弥八郎　　一石五斗六升
（※次筆ア本では本丁五筆目にあり）
こへはたけ「同」　　ひわの「ひはの」
三畝　　「下々」弥八郎　○あわ　六升
」

四畝　　下　同人　　四斗四升
かうしんてん　　「同」
一反　　下々　しゆろう坊　　四斗
まる山のこし　　あかはな
二反八畝　　下々　田中　　二石一斗
まる山のこし「まるやまこし」　「同」
半　　中「中下々」弥八郎　　六斗
同
二反　　下々　同人　　一石
同
一畝　　あさ　やまね「祢」　　一斗三升
惣つし「惣」百三石七斗五升　「七十石三斗四合」
□□「八月」十一日　三合　八十八石　九斗八升五合「一」
」

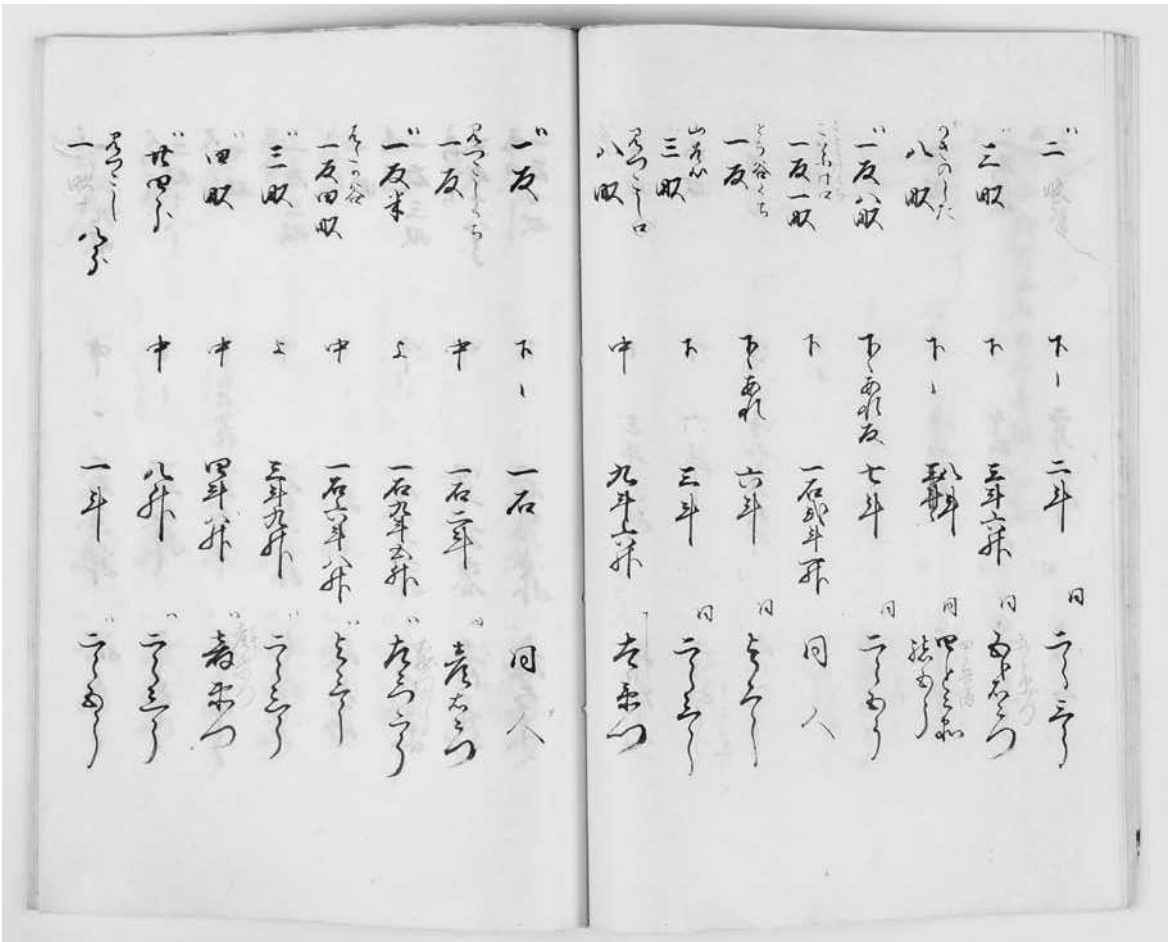
（十八丁ウラ・十九丁オモテ）



四口
惣合弐百五石五斗壱升四合　八十七所
大豆小豆共ニ　弐石三斗四升り（也ヵ）
さ「ざ」こく　壱石三斗八升五合り（也ヵ）
天正八年
八月十一日　あかわ「は」な　済二　」

いかふけ「とうけ」	三畝	下	三斗三升	あか花「はな」　太郎右『左』衛門
同	五畝	中	六斗	同　二郎五郎　分二郎三郎分
同	一反一畝	中	壱石三斗弐升	同　介二郎
同	二畝	あれ	「一石三斗」（貼紙抹消）	同　八郎五郎　うせ人「セ人」
同	八畝	下	八斗八升	同彦二「治」郎佃（カ）　二郎三郎「一」
同	九畝	中	壱石八升	同　二郎五「三」郎　「二郎五郎」
丸山	一反二畝	中	壱石四斗四升	同　二郎三「五」郎
丸山	二□□□「畝十二」歩	下	二斗五升	同　与三郎　」

（十九丁ウラ・二十丁オモテ）



同	二□「畝」	下々　二斗	同　二郎三郎
同	三畝	下　三斗六升	同　五郎右衛門「五郎衛門」
	かきのした	八斗	四郎兵衛
	八畝	下々　三斗「八斗」	同　猪五郎
同	一反八畝	下々あれ反　七斗	同　二郎五郎
	ことふけ口「ことうけくち」		
	一反一畝	下　一石弐斗一升	同　同人
	とち谷くち		
	一反	下々「下」あれ　六斗	同　与二郎「○」
	山そい		
	三畝	下　三斗	同　二郎三郎
	みつこし口「みつこし」		
	八畝	中　九斗六升	太衛門「「太郎衛門」」
同	一反	下々　一石	同人
	みつこしくち		
	一反	中　一石二斗	同　彦右衛門「彦衛門○」
同	一反半	上　一石九斗五升	同　左衛門二郎「○」
	はたの「は□□」谷		
	一反四畝	中　一石六斗八升	同　与三郎「○」
同	三畝	上　三斗九升	同　二郎三郎
	四畝	中　四斗八升	同　彦衛門「○」
同	廿四歩	中　八升	同　二郎三郎
	みつこし		
	一□□「畝十」八歩	一斗	二郎五郎

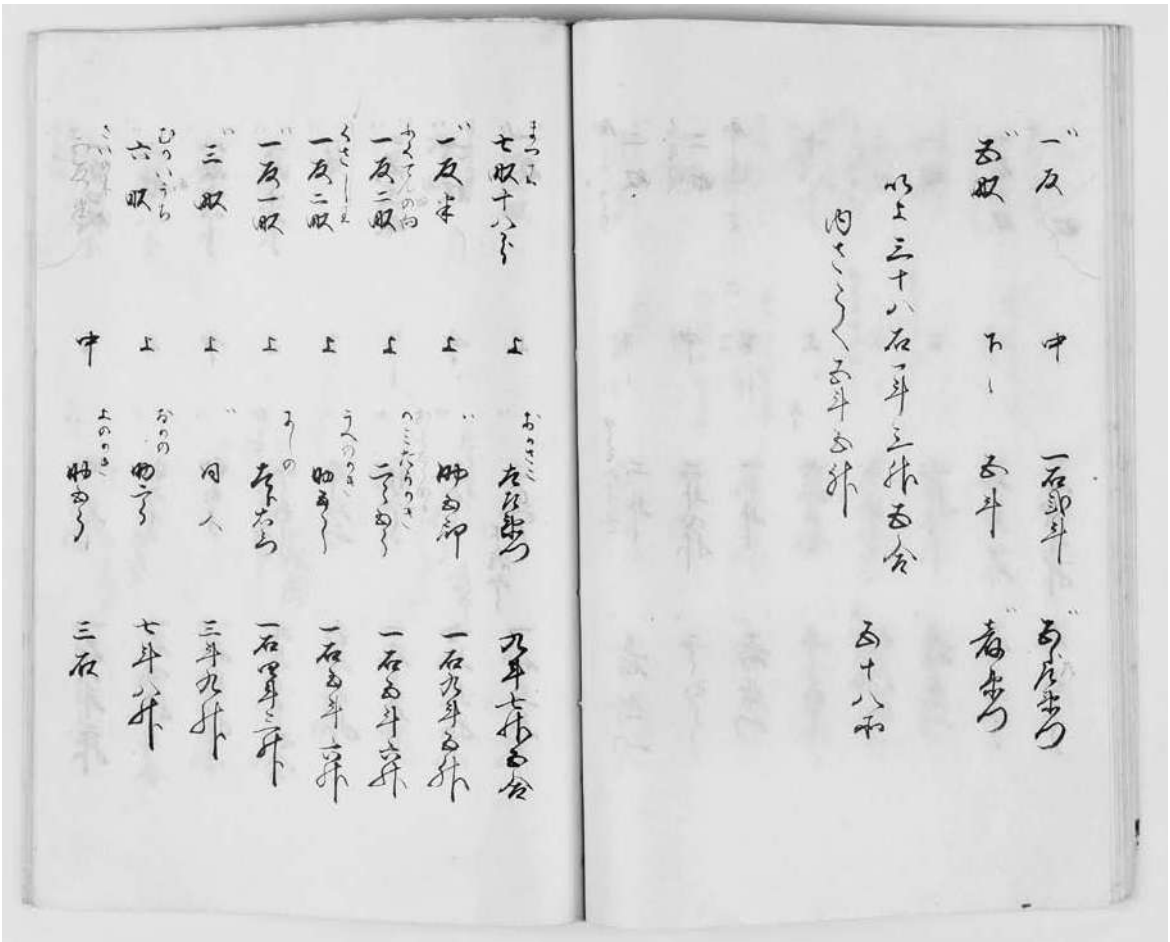
（二十丁ウラ・二十一丁オモテ）

は□□□「はた□谷」（かカ）	中	二石二斗八升	同	猪五郎
一□「反」九畝				
みつこし				
二畝十八歩	下々	一斗五升	同	二郎五郎
みこ谷				
七畝　下々あれ少配「あれ反」		二斗五合	同	三郎五郎
岡田「おか田」				
一反三畝	中	一石五斗六升	同	与二郎「○」
山した				
一畝	下々	一斗	同	太郎衛門
岡田「おか田」				
一反三畝	中	一石五斗六升	同	四郎兵衛「○」
よつまち				
三畝十八歩	中	四斗二升五合	同	彦衛門「○」
岡田「おかた」				
一反四畝	下	一石五斗四升	同	彦太郎「彦衛門ハ」「一」
谷田「おかた」	下	五升五合	同	彦衛門「○」
十八歩				
同				
半	中	六斗	同	太衛門「太郎衛門」
同				
一畝	下々	一斗	同	二郎五郎「二郎三郎」
岡田「おか田」				
七畝	上	九斗一升	同	彦衛門「○」
きとくち「きと口」				
半	下	五斗五升	同	五郎左衛門「○」
同				
三畝	下	三斗三升	同	二郎五郎
同				
六畝	下	六斗六升	同	太衛門「太郎衛門」
かミかいち				
□□「七畝」	下「中」	八斗四升		二郎五郎　　」

（二十一丁ウラ・二十二丁オモテ）

同　一□「反」　中　壱石弐斗　同人
同　三畝　そは「ハ」くわの木有　下々　三斗　同　彦衛門
上の「ノ」かいち　七畝　上　九斗壱升　同　太衛門「太郎衛門」
同　一畝十八歩　下　一斗六升五合　同　彦衛門
す「木」とくち　半　上　六斗五升　同　五郎左衛門
たん　一畝　あさくわの木有　下々上「上」　一斗三升　彦衛門
同　一畝　ひへくわの木有　下々　五升　同人
同「一」　「あつき「一」」　十八歩　下々　三升「「あつき三升」」　二郎五郎
屋「や」しきかゝり　くわの木有　同　彦衛門
二畝　下々　二斗　同　二郎五郎
くわかい　中　二斗四升　同　彦衛門
二畝　ひへ「一」　下々　一斗　同
屋「や」しきかゝり　「一畝」　十八歩　上　あさ　六升五合　二郎五郎
したのかいち　くわの木おゝし「少し」　あかはな「同あかはな」　五郎左衛門「○」
二畝「十八歩」　下々「○ひへ」二斗　同　彦衛門「○」
一畝　くわの木有　下々　八升　同　介二郎
そいたにくち　中　一石四斗四升　同　介五郎
一反二畝　そいのくほ「そいたにくち」
□□□「一反二」畝　下　一石弐斗一升
」

（二十二丁ウラ・二十三丁オモテ）



同　一反　中　一石弐斗　同　五郎左衛門

同　五畝　下々　五斗　同　彦衛門

以上三十八石一斗三升五合

内さこく五斗五升　五十八所

（余白あり）

」

まつは　七畝十八歩　上　おかさこ　太左衛門「太郎左衛門」　九斗七升五合

同　一反半　同　助五郎　一石九斗五升

ふくてんの向「ふくてん田」　上　かミ『うえ』たうかき　二郎五郎　一石五斗六升

一反二畝　上　うへのかき　助五郎　一石五斗六升

くさしは「一」　上　にしの　太郎右『左』衛門　一石四斗三升

一反二畝　同　同人　三斗九升

同　一反一畝　上　おかの　助二「治」郎　七斗八升

三畝　上の「ノ」かき

むかいうち「むかいふち」　上　助五郎　三石

六畝

さいの木

□□□「二反半」　中

」

（二十三丁ウラ・二十四丁オモテ）

□□「そね田」　一反四畝　上　同人　一石八斗二升
同　八畝　同　助二郎　一石四升「四斗」
同　八畝十八歩　中　助五郎　一石弐升「弐斗」
同　七畝十八歩　おくとう「道」かき　下「分」彦太郎　九斗七升五合
同　半　上　二郎五郎　同「一」
同　一反三畝　下　太郎右衛門　五斗五升
同　六畝　下々　助二郎　一石三斗
た「ど」うの下　中　助五郎　七斗弐升
一反　上　二郎五郎　同　下「分」彦太郎　一石三斗
」

同　一反一畝　上　五郎左衛門　一石四斗三升
わたのせ「セ」　たう「道」かき　彦太郎
九畝　上　二郎五郎　一石一斗七升
同　一畝十八歩　中　助五郎　うへのかき「上の垣」　一斗八升
同　一畝　上　同人　一斗三升
同　一畝十八歩　上　二郎五郎　下彦衛門「分彦太郎」　一斗九升五合
同　一畝十二歩　上　同人　同　一斗六升七合
同　二畝十八歩　上　下彦太郎「分彦太郎」　同人　三斗弐升五合
□「同」　きたノ「きたの」
□□「三畝」十八歩　上　四郎兵衛「へ」　四斗五合（四斗五升五合カ）
」

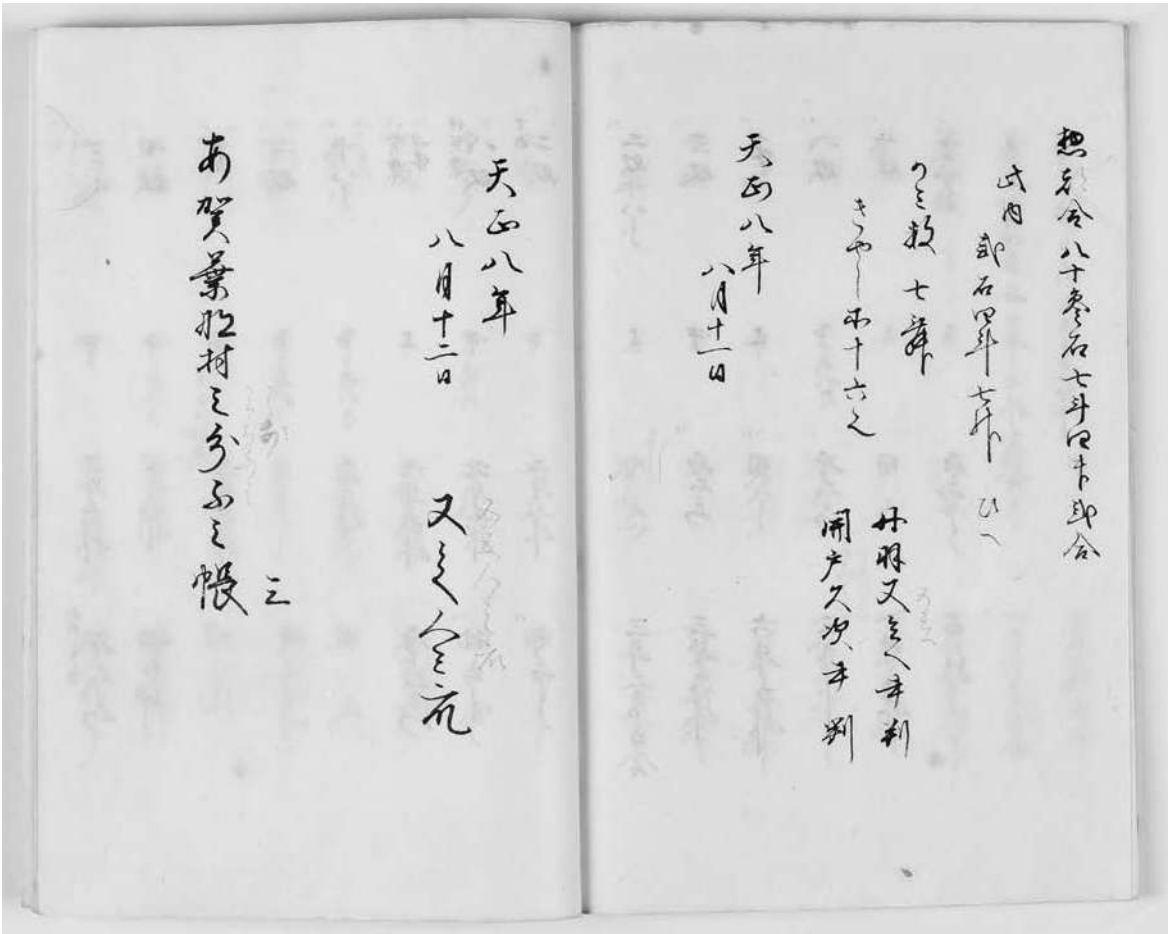
（二十四丁ウラ・二十五丁オモテ）

かい□「ち」　たにノ「たにの」　六斗五升
□「半」　上　五郎左衛門
同　きたゝ「さたの」　二斗六升
二畝　ひへ　上　四郎兵衛
同　同
四畝　ひへ　下　同人　四斗四升
同「一」　あたらしや
十八歩　上　五郎右「左」衛門　六升五合
むめか「が」さこ　むめざこ「一」
半　下　ひへ　五郎左衛門　五斗五升
同はた　同「一」
一反半　下　二郎五郎　一石六斗五升
下「分」二郎三郎
同　同
三畝　ひへ　上　彦太郎　三斗九升
同　同「一」
六畝　ひへ　上「中」二郎五郎「二郎三郎」　七斗弐升　」
すけ谷
同　下　太左衛門「太郎左衛門」　二斗二升
二畝　ひへ　谷ノ
同　上　五郎左衛門　一斗九升五合
一畝十八歩　あか花「あかはな」
同「同ゑの下」　上　五郎右衛門　六斗五升
半　谷ノ
ゑの下「一」　上　五郎左衛門　五斗弐升
四畝　祢こり「一」
祢こり　下々　二郎五郎　参石
三反「畝」　すけ谷「一」
たかを　上　太左衛門「太郎左衛門」　一石四斗三升
一反一畝　同「一」
同　上　二郎五「三」郎　七斗八升
六畝　同「一」　太郎左衛門と有「こあり」
同　上　二郎五郎　三斗弐升五合　」
□□□「二畝十」八歩

（二十五丁ウラ・二十六丁オモテ）

『同』『同』　同「一」
半□「十」八歩　上　同人　七斗一升五合
『同』『同』　「同」　助五郎　一斗九升五合
一畝十八歩　上　同　同人　一石八斗弐升
『同』『同』　上　同　同人
一反四畝　上　同人　六斗五升
『同』『同』　同「一」　太郎左衛門と有「こ有」
半　上　二郎五郎　一石三斗
『同』『同』　同「一」
一反　中　彦太郎　三斗六升
『同』『同』　上　同人　九斗壱升
三畝　にしノ「にしの」
『同』『同』　上　太郎衛門「太郎右『左』衛門」一石三斗　」
七畝　同
『同』『同』　同
一反　上　同人　三斗二升五合「七斗壱升五合」
二畝十八歩　同
『同』『同』　中　太右衛門「太郎右衛門」　三斗六升
三畝　同
『同』『同』　上　同人　六斗五升
半　同
『同』『同』　下々あれ有　太右衛門「太郎右衛門」　三斗
八畝　同
『同』『同』　上　同人　一斗三升
一畝　同
『同』『同』　同「一」
十八歩　「あつき」下　左衛門二郎　五升
已上四拾五石二斗七升弐合り（也カ）（ア本「り」なし）
□□「右之」内二石七斗九升
」

（二十六丁ウラ・二十七丁オモテ）



物□「都」合八十参石七斗四升弐合
此内
弐石四斗七升　ひへ
かミ数七舞
きやし「きゆ」所十六也
丹羽又兵へ書判
関戸久次書判
天正八年
八月十一日

「四」

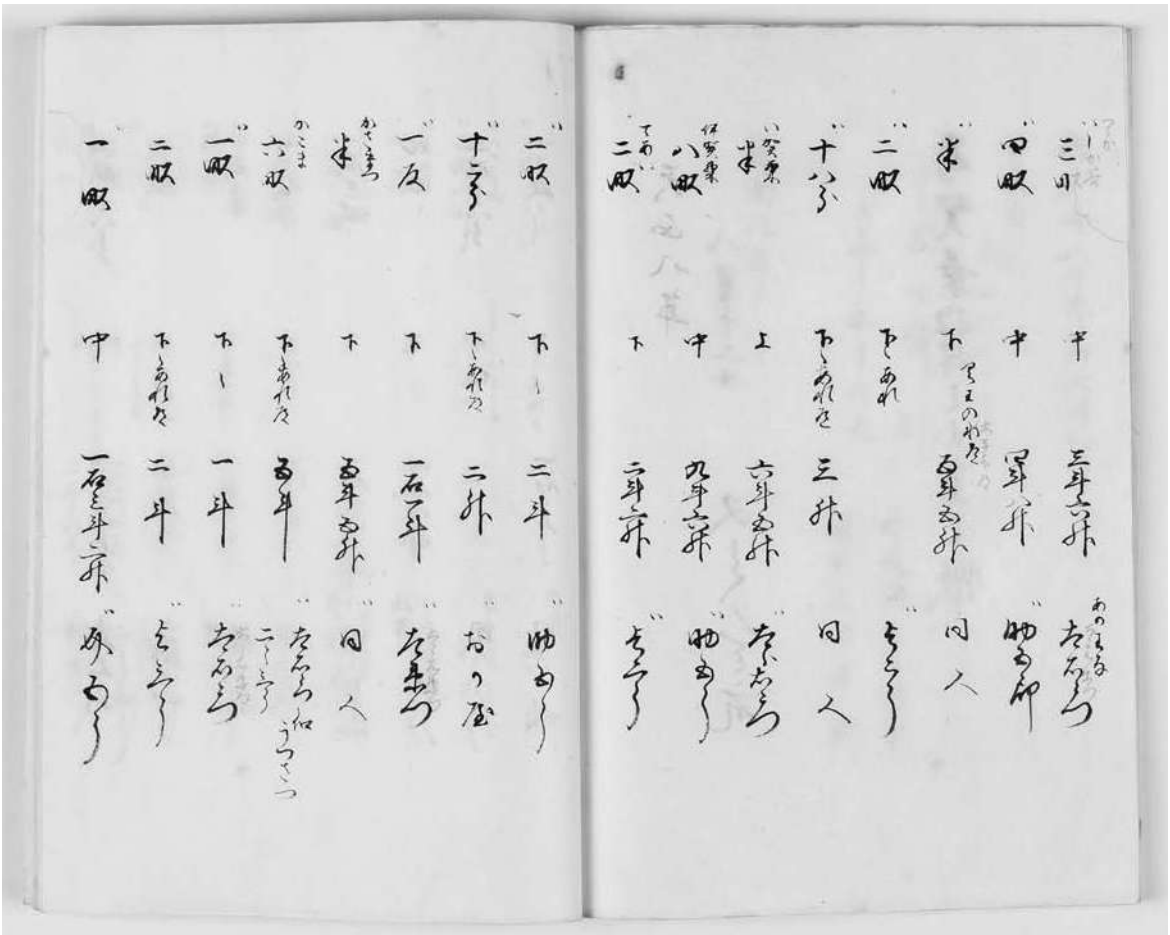
天正八年
八月十二日
又兵へ人之衆「又兵へ之衆」

「

あかはな村之たふミ帳　三

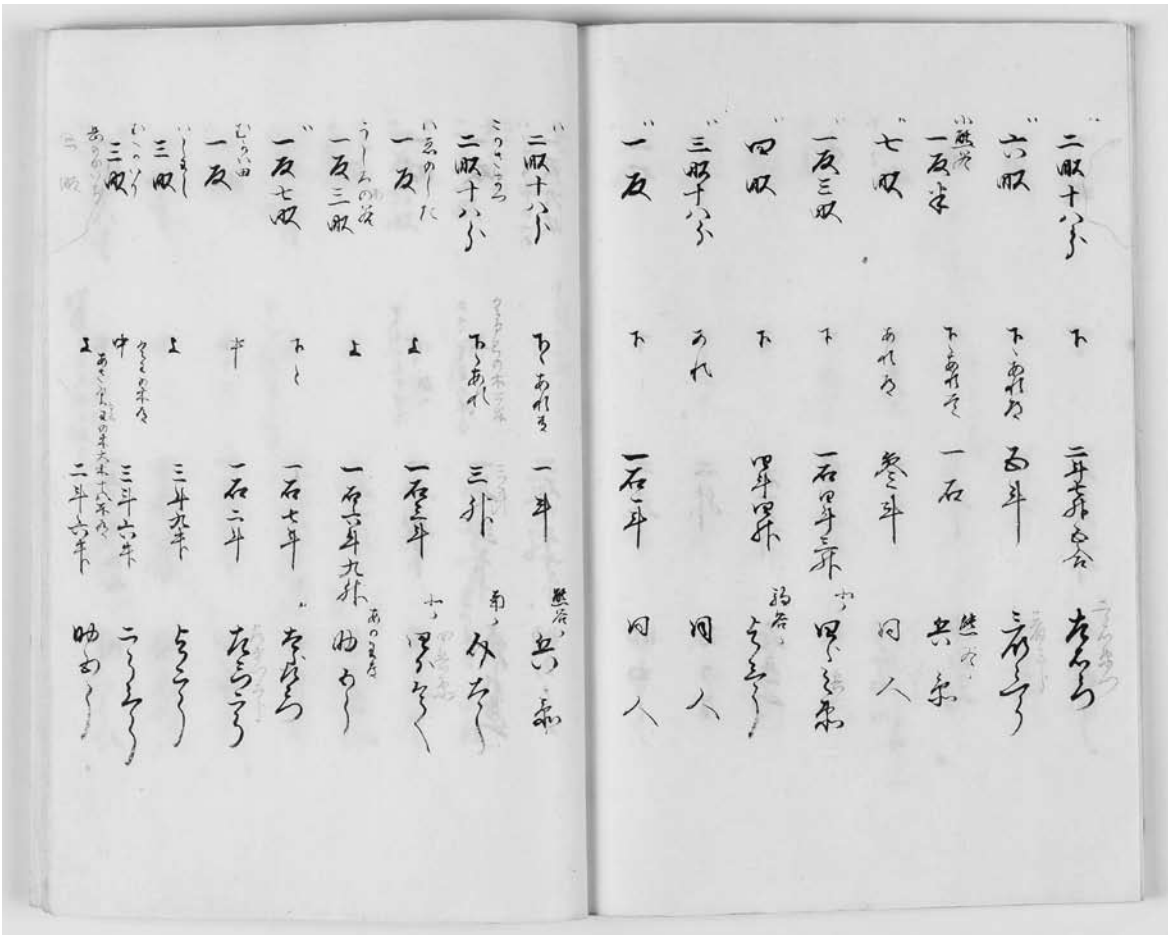
「

（二十七丁ウラ・二十八丁オモテ）



いし□□「か谷」　　あかはな
三□「畝」　　中　三斗六升　太郎衛門「太郎右衛門」
同　四畝　　中　四斗八升　同　助五郎
同　半　　下　くわの木「三本」有　五斗五升　「同」　同人
同　二畝　　下々あれ　同　与二郎
同　十八歩　　下々あれ有「下々あれ」三升　「同」　同人
い賀栗「いがくり」　　上　六斗五升　同　太郎右衛門
半　伊賀栗「いがくり」　　中　九斗六升　同　助五郎
八畝　てあい　　下　二斗二升　同　与二郎
二畝　　」
同　二畝　　下々　二斗　同　助五郎
同　十二歩　　下々あれ有　二升　同　おか屋
同　一反　かさまつ　　下　一石一斗　同　太郎衛門「太郎右衛門」
半　かこま「かさまつ」　　下　五斗五升　同　同人
六畝　　下々あれ有　五斗　同　太右衛門「太郎右衛門」佃（カ）
同　一畝　　下々　一斗　同　二郎三郎　うつさつ「うつさす」
二畝「廿歩」　　下々あれ有　二斗　同　太右衛門「太郎右衛門」
同　一□□「反二」畝　　中　一石三斗二升　同　与三郎
　　介五郎
　　」

（二十八丁ウラ・二十九丁オモテ）



同　　「同」
二畝十八歩　下　二斗七升五合　太右衛門「二郎右衛門」
同　六畝　下々あれ有　五斗　彦三郎
小「北」熊谷　下々あれ有　一石　熊谷ノ「熊谷」
一反半　兵衛
同　七畝　あれ有「下々あれ有」　参斗　同人
同　一反三畝　下　一石四斗三升　北ノ　四郎兵衛
同　四畝　下　四斗四升　駒谷ノ「一」　与三郎
同　三畝十八歩　あれ　同人
同　一反　下　一石一斗　同人
」
同　二畝十八歩　下々あれ有　一斗　熊谷ノ「熊谷」
こかさまつ　兵衛
二畝十八歩　「くるわ（くりくわ）の木二本」　南ノ
いゑのした「下」　下々あれ　三升「三斗」　介太郎
一反　上　一石三斗　北ノ　四郎兵へ「四郎兵衛」
うしろの「か」谷　あかはな
一反三畝　上　一石六斗九升　助五郎
同　一反七畝　下々　一石七斗　同　太郎左衛門
むかい田　「同」
一反　中　一石二斗　左衛門二郎
いしはし　「同」
三畝　上　三斗九升　与二郎
む『へ』かいち　くわ「くるわ」の木有
三畝　中　三斗六升　二郎三郎
※この行ア本は二十九丁ウラ冒頭にあり。
岡□□□「おかのかいち」　あさ　くわ「くるわ」の大木十八本有
□□「二畝」　上　二斗六升　助五郎
」

（二十九丁ウラ・三十丁オモテ）

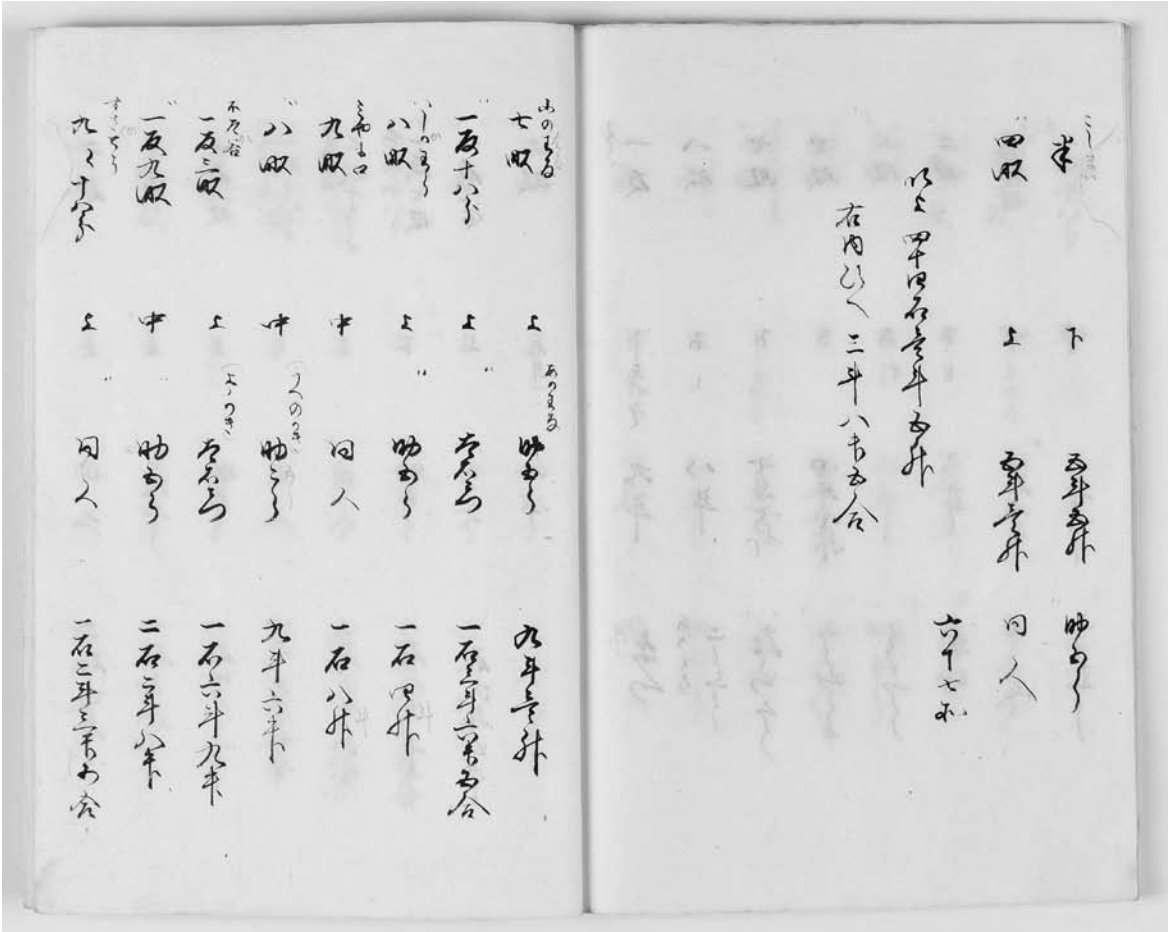
同　　くわ「くるわ」の大木十五本有「十六本」　「同」
一□「畝」十八歩　　下ひへ　一斗六升五合　同人
同　　十八歩　　下　五升五合　「同」　同人
同　　一畝　　下々ひへ　一斗　同　与二郎
同　　あさくわの木十五本大木「くるわの大十六本」　同
二畝十八歩　　上「一」三斗弐升五合　岡田「おかの」　助五郎
かいち　　八畝　　上　一石四升「斗」太左衛門「太郎左衛門」
同　　くわ「くるわ」の木十四本　「同」
一畝　　中　ひへ一斗弐升　同人
同　　あさ「一」　くわ「くるわ」の木有　あかは「ば」な
一畝　　上　一斗弐「三」升　彦左衛門
いしはしのつめ「いしはしつめ」　同
一反九畝　　上　二石四斗七升　助五郎　」

岡っとう「おかんとう」　くわ「くるわ」の木おゝし「同」
三畝　　下　三斗三升　同人
岡っとうノ下「おかんとう下」　あかはな
一反一畝　　下　一石二斗壱升　山ね「山祢」
とち谷　　一反六畝　　下々　一石六斗　左衛門二郎
とうした　　九畝　　上　一石一斗七升　あかは「ば」な　助五郎
とうした　　一反九畝　　上　二石四斗七升　同「一」　助太郎
同　　六畝　　中　七斗弐升　同　助五郎
同　　四畝　　中　四斗八升　同　太衛門「太郎右衛門」
ふけ　　一□□「反半」　下々あれ有　一石三斗　同　与三郎　」

（三十丁ウラ・三十一丁オモテ）

同「一」　中　三斗　同
二畝十八歩　下々あれ有　七斗　衛門「（衛門の左下にあり）まん五郎」
とふ「う」した　下々あれ有　七斗　同　二郎五郎
一反二畝　下々　一石一斗　東　衛門
いわし「いしわら」　下々　一石一斗　あわな「あかはな」
一反一畝　下々　二斗　助五郎
ふけ　同
二畝　下「下々」　六斗六升　同　四郎兵へ「四郎兵衛」
同　『東ノ』
六畝　下々あれ有　四斗　衛門
わたノ谷くち
七畝　同
同　下々　二斗　助五郎
二畝　同
同　下々　一石　同人
一反　」
わた　東ノ
一反　下々あれ有　九斗　衛門
同　あかは「ば」な
八畝　下々　八斗　二郎三郎
同　同
七畝　下　七斗七升　左衛門二郎
同　同
四畝　下　四斗四升　二郎三郎
同　同
二畝　あれ　与三「二」郎
同
二畝　下々　二斗　衛門
同
一反七畝　中　二石四升「斗」　同人
わた　同
□□「三畝」　中　三斗六升　二郎三郎
」

（三十一丁ウラ・三十二丁オモテ）



こし□□「こしまい」　下　五斗五升　助五郎
半　上　五斗壱升（二カ）　同人
同
四畝　六十七所
以上四十四石壱斗五升
右内ひへ三斗八升五合

（余白あり）

」

山のはな「やまのはな」　あかは「ば」な
七畝　上　助五郎　九斗壱升
同　同
一反十八歩　上　太右衛門「太郎右衛門」一石三斗六升五合
いしかわら　同
八畝　上　助五郎　一石四升「斗」
ミやま口「くち」　中　同人　一石八升「斗」
九畝　うへのかき「丨」
同　中　助二「五」郎　九斗六升
八畝　上ノかき「丨」
ほそ谷「ほそか谷」　上　太右衛門「太郎右衛門」　一石六斗九升
一反三畝　同
同　中　助五郎　二石二斗八升
一反九畝
すさとう「すさかとう」　上　同人　一石二斗三升五合　」
九□「畝」十八歩

（三十二丁ウラ・三十三丁オモテ）

同	上	同人	二石六斗
二反	同		
同	上	彦三郎	一石三斗
一反	同		
同	上	助五郎	一石四斗三升
一反一畝	同		
つはき谷	上	同人	一斗九升五合
一畝十八歩	同		
そな谷	上	同人	二斗九升五合
二畝十二「八」歩	同		
しもこや	下	助五郎	一石八斗七升
一反七畝	同		
同	上	同人	一石九斗五升
一反半	同		
同	あれ	田中	」
二畝			
同	上	助五郎	二斗六升
二畝	同		
同	上	与三郎	二斗六升
二畝	同		
すきの下	上	兵へ「兵衛」	三斗弐升五合
二畝十八歩	同		
同	上	与三郎	三斗弐升五合
二畝十八歩	同		
同	中	同人	一石四斗四升
一反二畝	同		
同	あれ	「同」	
半			
同	上	与三郎	一石六斗九升
一反三畝	同		
同	上	同人	九斗壱『三』升
七畝			」

（三十三丁ウラ・三十四丁オモテ）※この見開きア本になし

（頭注鉛筆書）「◎此頁及次頁／赤花部落／写にはなし」

同	一畝	上	兵へ	一斗三升
同	三畝	上	助五郎	三斗九升
同	三畝	上	太右衛門	三斗九升
くた谷	三畝	上	助五郎	三斗九升
同	三畝	上	兵へ	三斗九升
同	三畝	そわ『そわあれ』	同人	二斗
同	八畝	あれ『|』	助五郎	一石四升『斗』
同	六畝	上	太右衛門	七斗八升
同	四畝	上	与三郎	五斗弐升
同	二畝	中	助五郎	二斗四升
同	一畝	下	同人	一斗壱升
同	半	あれ		
同	七畝	下	助五郎	七斗七升
同	二畝	下々	太右衛門	二石
同	一畝	上	同人	一斗三升
	『同』	あわ あれ有		
	二畝十八歩	下々『|』	介二郎	二斗

」

（三十四丁ウラ・三十五丁オモテ）

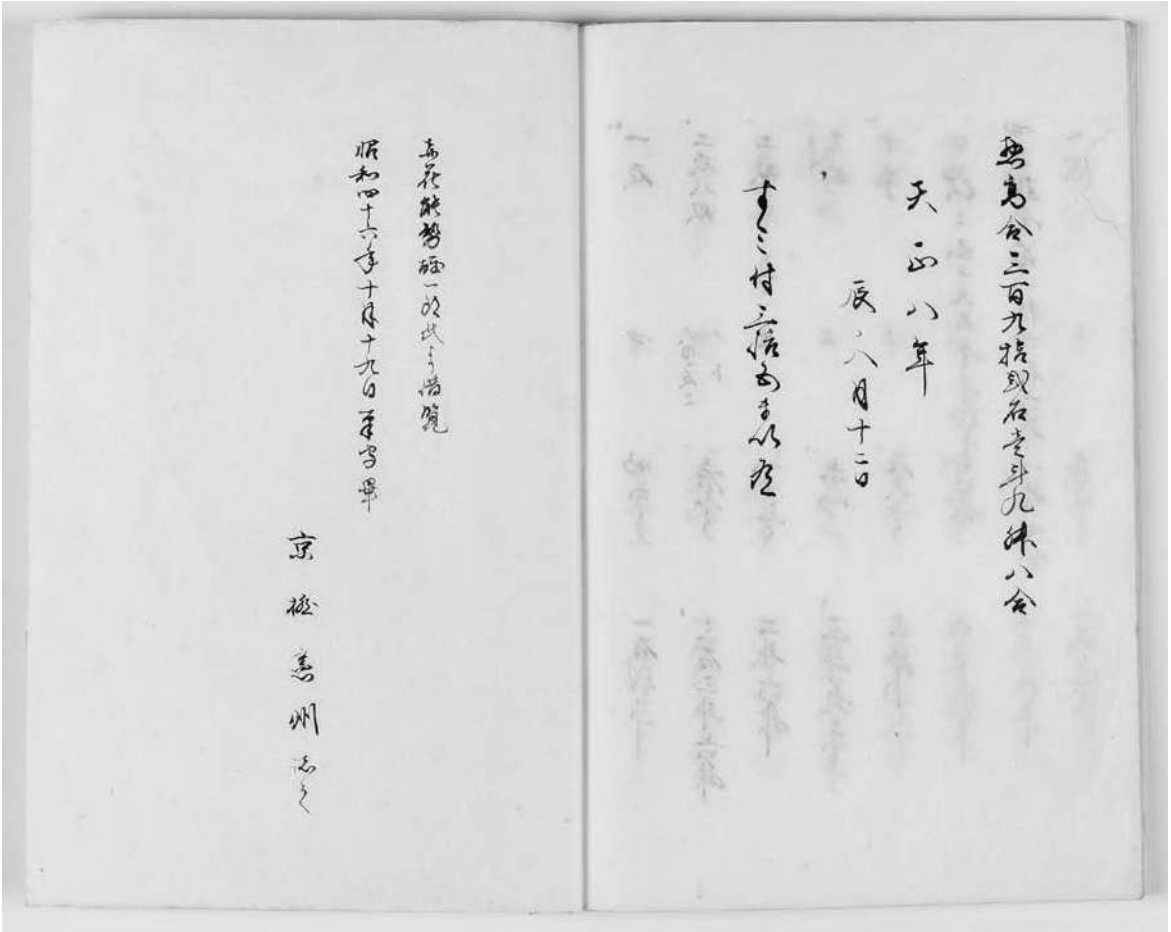
同	二畝十八歩	あさ「一」	同
同	二畝十八歩	上「あれ」	助二「五」郎	三斗弐升五合
同	二畝十八歩	あさ	同	上	助五郎	三斗弐「六」升五合
同	二畝　「ひへ」	下	同	同人	二斗弐升
同	一畝十八歩	あさ	同	上	同人	一斗九升五合
同	一畝十二歩	あさ	同	上	与次郎「与三郎」	一斗五升七合
同	一反	同「一」	下々あれ有	助五郎	九斗
同	一反	同	下々あれ	助二「五」郎	八斗
いわかミ「いがミ谷」	一反一畝	同	上	彦三郎	一石四斗弐升（三カ）」
同	二畝	上	同	介五郎	二斗六升
同	二畝十歩	同	上	彦三郎	三斗一升
同	六畝十八歩	同	上	助五郎	八斗四升五合
へい谷「平谷」	二畝	あさ	同	上	彦三郎	二斗六升
同	一畝	同	下々	左衛門二郎	一斗
同	一反半	あれ有	同「一」	下々	彦三郎	六斗
なわて「なかす」の下	半	同	中	同人	六斗
同	一反二畝	同	上	助五郎	一石五斗六升」

（三十五丁ウラ・三十六丁オモテ）

同	一反	上	同	彦三郎	一石三斗「一石斗」
同	二畝	上	同	彦三郎	二斗六升
同	四畝	上	同	助二郎	五斗弐升
同	二畝	上	同	同人	二斗六升
同	一反三畝	上	同	四郎兵へ『四郎三郎』	一石六斗九升
同	一反六畝	上	同	彦三郎	二石八升「斗」
同	一反十八歩	中	同	衛門	一石弐斗六升
同	八畝	上	同	与三郎	一石四升「斗」
同	一反	中	同	助五郎	一石弐斗
同	二反八畝	此内一反上 〆下	同	彦三郎	三石三斗六升
同	二畝	あつき 上	同	八郎三「二」郎	二斗六升
	かわはた「田」				
	三畝	上	同	衛門	三斗九升
同	十歩	中	同	左衛門二郎	三升

以上五十九石壱斗弐升七合
四口　惣合百八拾六石六斗八升四合
」

（三十六丁ウラ・三十七丁オモテ）

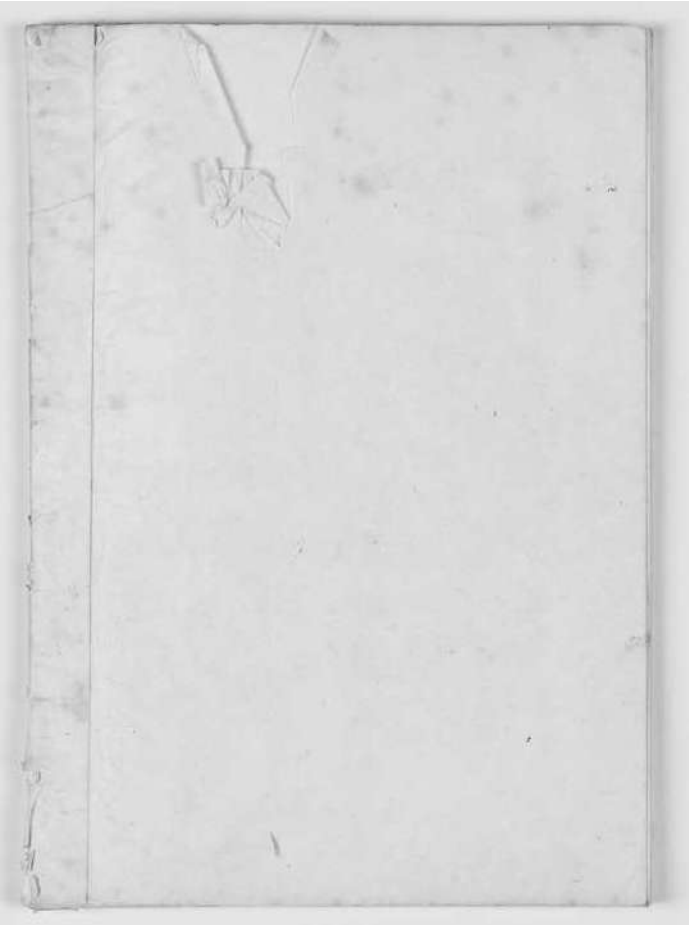


惣高合三百九拾弐石壱斗九升八合
天正八年
辰ノ八月十二日
すミ付三拾五まい有

」

赤花能勢雄一郎氏より借覧
昭和四十六年十月十九日筆写畢
京極善州誌之

」



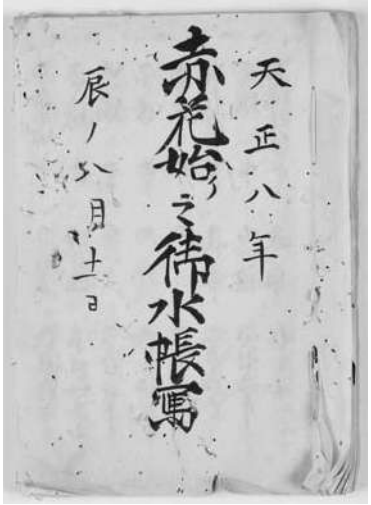
（三十七丁ウラ〔裏表紙〕）

（白紙）

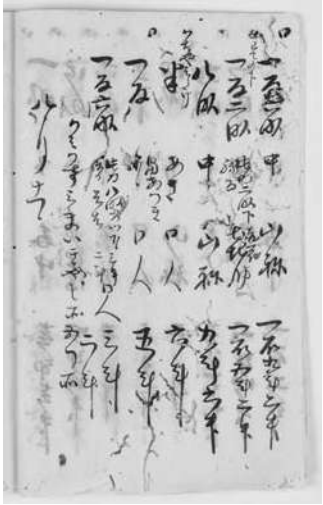
参考図版1　但馬国出石郡赤花村検地帳写（赤花区旧蔵＝ア本）

天正八年（一五八〇）八月十二日付け、江戸時代写

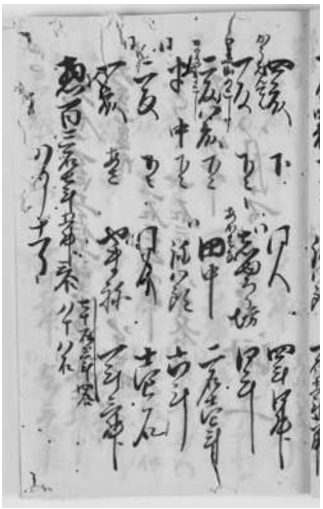
豊岡市立日本・モンゴル民族博物館蔵



表紙（一丁オモテ）



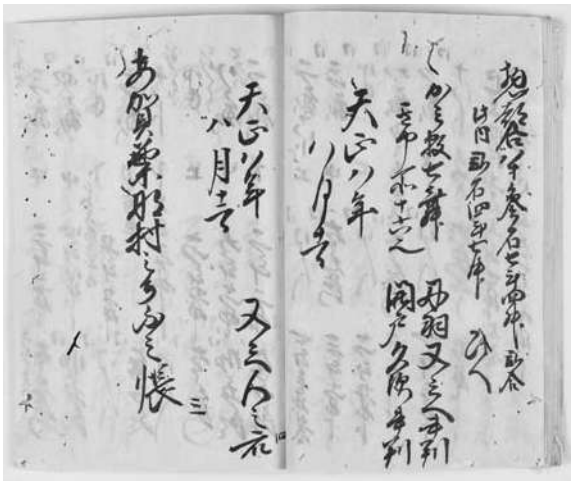
三丁ウラ



十八丁オモテ

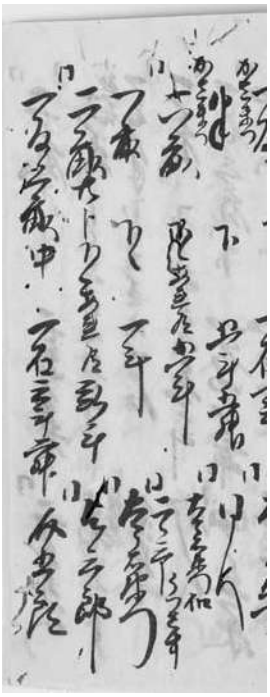
十八丁ウラ・十九丁オモテ

十九丁ウラ・二十丁オモテ



二十六丁ウラ・二十七丁オモテ

二十五丁オモテ

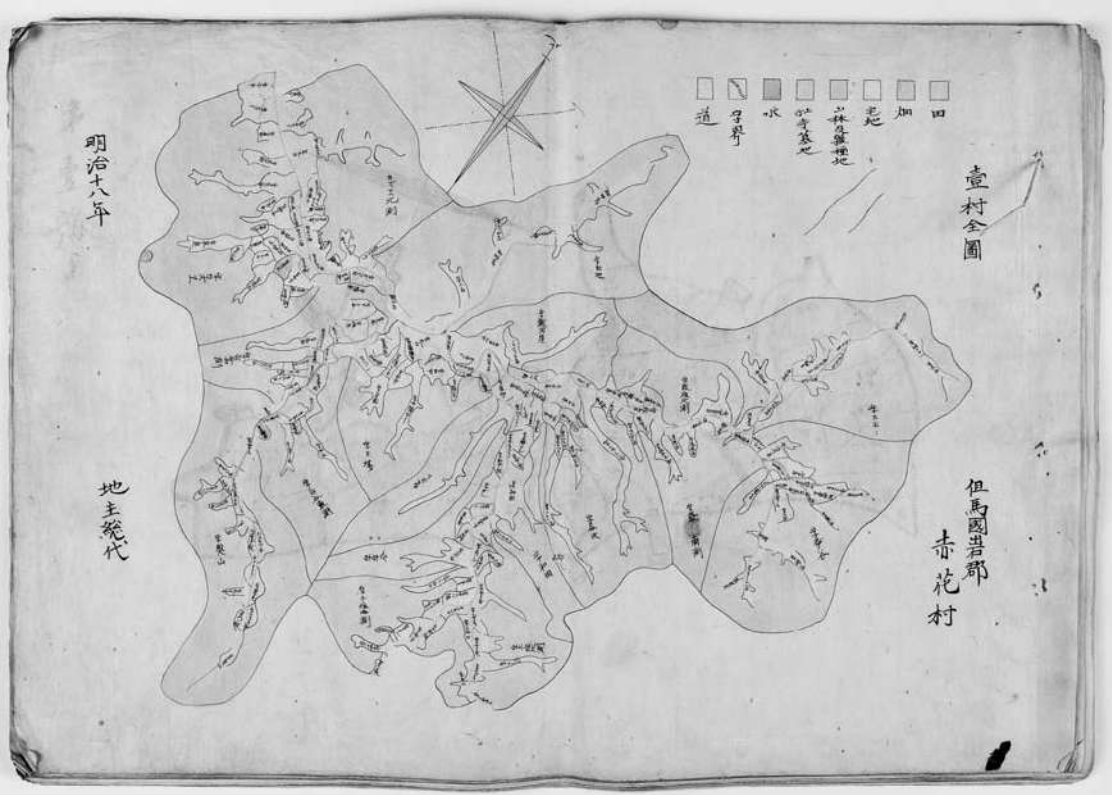


二十八丁オモテ

参考図版２　兵庫県下但馬国出石郡赤花村耕宅山林図面

明治十八年（一八八五）六月

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館蔵



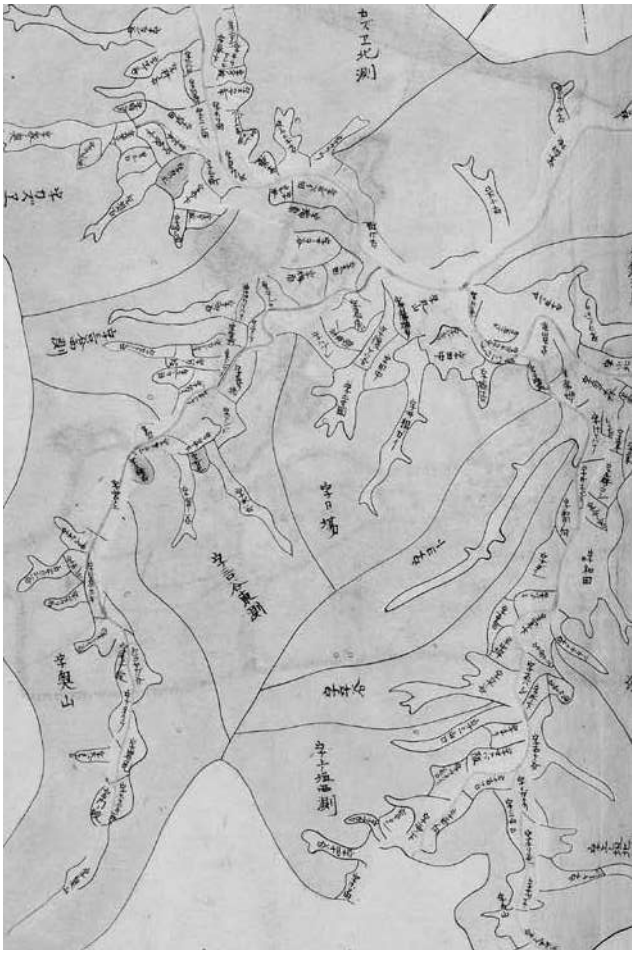


表１　赤花帳校訂表

※キ本とア本の異同については、漢数字か大字かの違い（「一」と「壱」など）は煩雑となるので割愛し、そのほかは全てあげた。
※ノ本については、キ本・ア本間で異同があるものは全てあげ、それ以外は参考になると判断したもののみをあげた。
　なお、ノ本欄の「○」は読めずの意味である。

件番	分冊	丁数	筆数	キ本	ア本	【参考】ノ本小西氏翻刻	妥当性の判断
1	1	2オ	1	〔字名〕山祢	〔字名〕山根	キ本と同じ。	いずれも同義。
2	1	2オ	1	〔面積〕壱畝拾弐歩	〔面積〕壱畝拾八歩	キ本と同じ。	判断不能。
3	1	2オ	8	〔面積〕壱反	〔面積〕壱反壱畝	キ本と同じ。	判断不能。
4	1	2ウ	4	〔等級〕下	〔等級〕下	〔等級〕中	斗代よりキ本・ア本が妥当。
5	1	3オ	2	〔名請人〕わき坊	〔名請人〕わき坊	〔名請人〕五観坊	キ本・ア本が妥当ヵ。
6	1	3オ	3	〔小村名〕同	-	キ本と同じ。	判断不能。
7	1	3オ	5	〔字名〕かちてん	〔字名〕かちてん	〔字名〕うちてん	キ本・ア本が妥当ヵ。
8	1	3オ	7	〔名請人〕さうはん	〔名請人〕さうはん	〔名請人〕さうむん	三本いずれも名請人は「さうてん」の誤写ヵ。
9	1	3オ	8	〔面積〕一□	〔面積〕一反	〔面積〕○	ノ本破損ヵ、ア本による。
10	1	3オ	8	〔分米〕壱石壱斗	〔分米〕一石二斗	キ本と同じ。	斗代よりア本が妥当。
11	1	3ウ	1	〔字名〕-	〔字名〕同	この筆なし。	ノ本破損ヵ。ア本による。
12	1	3ウ	1	〔面積〕一反□□	〔面積〕一反六畝	この筆なし。	ノ本破損ヵ。ア本による。
13	1	3ウ	2	〔字名〕-	〔字名〕なわての下	〔字名〕○	ア本による。
14	1	3ウ	2	〔面積注記〕此内上壱反／下弐畝	〔面積注記〕此内二畝下、残而上	キ本と同じ。	いずれも同義。判断不能。
15	1	3ウ	2	〔小村名〕あか花	〔小村名〕赤花	キ本と同じ。	いずれも同義。
16	1	3ウ	3	〔字名〕-	〔字名〕同	〔字名〕○	ア本による。
17	1	3ウ	4	〔字名〕-	〔字名〕かちやはたけ	〔字名〕○	ア本による。
18	1	3ウ	5	〔字名〕-	〔字名〕同	〔字名〕○	ア本による。
19	1	3ウ	5	〔等級〕畠小豆	〔等級〕畠あつき	〔等級〕畑小豆	判断不能。
20	1	3ウ	5	〔分米〕(合点)あつき	〔分米〕-	〔分米〕-	判断不能。
21	1	3ウ	6	〔分米〕(合点)大つ　三斗／(合点)そは　二斗	〔分米〕三斗／二斗	〔分米〕大つ　三斗／そ王(ば)　二斗	判断不能。
22	1	3ウ	奥書	八月十一日　かミかす…	かミかす…／八月十一日	キ本と同じ。	判断不能。
23	1	3ウ	奥書	きやし所	きやし所	キ本と同じ。	三本ともに「きゆう所」の誤写の可能性あり。
24	2	5オ	1	〔字名〕いしかわら	〔字名〕いしくわら	〔字名〕○	近代小字「石川原」よりキ本が妥当。
25	2	5オ	3	〔字名〕ひろわた	〔字名〕ひろはたけ	〔字名〕ひろす○け	ア本が最も妥当ヵ。
26	2	5オ	5	〔字名〕うちこもり	〔字名〕うちごもり	〔字名〕うちこ○り	いずれも同義。
27	2	5オ	8	〔面積〕四□	〔面積〕四畝	キ本と同じ。	ノ本破損ヵ。ア本による。
28	2	5ウ	1	〔字名〕かきう□	〔字名〕かきうち	〔字名〕○○	ノ本破損ヵ。ア本による。
29	2	5ウ	1	〔面積〕二□	〔面積〕二畝	キ本と同じ。	ノ本破損ヵ。ア本による。
30	2	5ウ	2	〔等級〕下	〔等級〕下々	キ本と同じ。	判断不能。
31	2	5ウ	2	〔分米〕ひへ一斗一升	〔分米〕○ひへ一斗一升	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
32	2	5ウ	3	〔分米〕ひへ一斗弐升五合	〔分米〕○ひへ一斗二升五合	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
33	2	5ウ	5	〔分米〕ひへ壱斗	〔分米〕○ひへ壱斗	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
34	2	5ウ	6	〔等級〕衛門	〔等級〕上	〔等級〕麦	ア本による。
35	2	5ウ	6	〔小村名〕ひかしの	〔小村名〕ひかし	〔小村名〕-	いずれも同義。
36	2	5ウ	8	〔分米〕ひへ九升	〔分米〕○ひへ九升	この筆なし。	ア本によるべきヵ。
37	2	6オ	2	〔字名〕東竹のした	〔字名〕東竹かした	〔字名〕末竹の志○	キ本・ア本によるべきヵ。
38	2	6オ	2	〔面積〕一反	〔面積〕一反	〔面積〕八畝	斗代よりキ本・ア本が妥当。
39	2	6オ	3	〔字名〕竹のはな	〔字名〕竹がはな	キ本と同じ。	いずれも同義。
40	2	6オ	4	〔字名〕竹のした	〔字名〕竹のしと	〔字名〕竹の志○	キ本による。
41	2	6オ	6	〔小村名〕ひかしの	〔小村名〕東の	〔小村名〕ひがしの	いずれも同義。
42	2	6オ	7	〔名請人〕しゆろう坊	〔名請人〕しゆろう増	〔名請人〕志○ろう坊	近代小字「主楼谷」よりキ本が妥当。
43	2	6オ	8	〔字名〕いまミや	〔字名〕同向	〔小村名〕同	判断不能。
44	2	6オ	8	〔面積〕一□	〔面積〕一反	キ本と同じ。	ノ本破損ヵ。ア本による。
45	2	6オ	8	〔小村名〕あかはな	〔小村名〕同	〔小村名〕-	いずれも同義
46	2	6ウ	1	〔面積〕一畝□□	〔面積〕一畝拾八歩	〔面積〕一畝	ノ本破損ヵ。ア本による。
47	2	6ウ	2	〔字名〕同	〔字名〕-	キ本と同じ。	キ本による。
48	2	6ウ	2	〔分米〕ひへ七升	〔分米〕○ひへ七升	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
49	2	6ウ	3	〔字名〕同	〔字名〕-	キ本と同じ。	キ本による。
50	2	6ウ	3	〔分米〕ひへ　四升	〔分米〕○ひへ四升	キ本と同じ。	判断不能。
51	2	6ウ	4	〔字名〕いまみやのむかい	〔字名〕-	キ本と同じ。	キ本による。
52	2	6ウ	5	〔字名〕ふるひかし	〔字名〕-	〔字名〕ふるひがし	キ本・ノ本いずれも同義。これらによる。
53	2	6ウ	6	〔字名〕同	〔字名〕-	キ本と同じ。	キ本による。
54	2	6ウ	7	〔字名〕同	〔字名〕-	キ本と同じ。	キ本による。
55	2	6ウ	8	〔字名〕同	〔字名〕-	この筆なし。	キ本による。
56	2	6ウ	8	〔名請人〕太左衛門	〔名請人〕太郎左衛門	この筆なし。	ア本によるべきヵ。
57	2	7オ	1	〔名請人〕太衛門	〔名請人〕太郎衛門	〔名請人〕左衛門	ア本によるべきヵ。
58	2	7オ	4	〔字名〕同なかなわて	〔字名〕同なかなわて	〔字名〕いなりな王て	キ本・ア本によるべきヵ。
59	2	7オ	6	〔名請人〕おかさこ	〔名請人〕おかざこ	〔名請人〕おうさこ	キ本・ア本いずれも同義。これらによる。
60	2	7オ	8	〔面積〕三□	〔面積〕三畝	〔面積〕三○	ノ本破損ヵ。ア本による。
61	2	7ウ	1	〔面積〕八□	〔面積〕八畝	〔面積〕八○	ノ本破損ヵ。ア本による。
62	2	7ウ	1	〔小村名〕すけの谷	〔小村名〕すけ谷の	〔小村名〕すげ谷の	ア本によるべきヵ。
63	2	7ウ	4	〔字名〕大の田	〔字名〕大のた	キ本と同じ。	いずれも同義。
64	2	7ウ	4	〔名請人〕太右衛門	〔名請人〕太郎右衛門	〔名請人〕太左左衛門	ア本によるべきヵ。
65	2	7ウ	6	〔字名〕くりの木の谷	〔字名〕くりのき谷	キ本と同じ。	いずれも同義。
66	2	8オ	4	〔小村名〕西ノ	〔小村名〕西の	ア本と同じ。	いずれも同義。
67	2	8オ	4	〔名請人〕太郎右衛門	〔名請人〕太郎右衛門	〔名請人〕太郎左衛門	太郎右衛門の所属小村名(西)よりキ本・ア本による。
68	2	8オ	5	〔字名〕同	〔字名〕-	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
69	2	8オ	7	〔字名〕いゑのした	〔字名〕とうのした	〔字名〕いえの志○	判断不能。
70	2	8オ	7	〔等級〕下々	〔等級〕-	キ本と同じ。	キ本による。
71	2	8オ	7	〔分米〕○ひへ	〔分米〕ひへ	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
72	2	8オ	8	〔字名〕おかざ□	〔字名〕おかさか	〔字名〕おかざ○	いずれも同義ヵ。
73	2	8オ	8	〔面積〕六□	〔面積〕六畝	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。
74	2	8オ	8	〔等級〕下々	〔等級〕-	キ本と同じ。	キ本による。

件番	分冊	丁数	筆数	キ本	ア本	【参考】ノ本小西氏翻刻	妥当性の判断
75	2	8オ	8	〔分米〕(合点)大つ四斗	〔分米〕大つ四斗	ア本と同じ。	判断不能。
76	2	8ウ	1	〔字名〕とふけ□□	〔字名〕とうけの谷	〔字名〕ふけ	ノ本破損ヵ。ア本による。
77	2	8ウ	1	〔面積〕二□□□	〔面積〕弐反七畝	〔面積〕二畝	ノ本破損ヵ。ア本による。
78	2	8ウ	4	〔字名〕かごのざか	〔字名〕おこのざか	〔字名〕かごのさか	キ本・ノ本いずれも同義。これらによる。
79	2	8ウ	4	〔小村名〕ひかしの	〔小村名〕ひかし	〔小村名〕ひがしの	いずれも同義。
80	2	8ウ	5	〔字名〕かごのさか	〔字名〕かこのざか	〔字名〕同	いずれも同義。
81	2	8ウ	6	〔分米〕○ひへ　壱斗八升	〔分米〕壱斗八升	〔分米〕ひへ一斗八升	キ本によるべきヵ。
82	2	8ウ	7	〔面積〕二畝	〔面積〕二反	キ本と同じ。	斗代よりア本が妥当。
83	2	8ウ	8	〔字名〕ひかしの谷	〔字名〕ひかし谷	〔字名〕ひがしの谷	いずれも同義。
84	2	8ウ	8	〔小村名〕ひかしの	〔小村名〕ひかし	〔小村名〕ひがしの	いずれも同義。
85	2	9オ	1	〔分米〕(合点)大つ三升	〔分米〕○大つ三升	〔分米〕大つ　三升	判断不能。
86	2	9オ	2	〔小村名〕ひかしの	〔小村名〕ひかし	〔小村名〕ひがしの	いずれも同義。
87	2	9オ	5	〔小村名〕ひかしの	〔小村名〕ひかし	〔小村名〕ひがしの	いずれも同義。
88	2	9オ	8	〔面積〕六□	〔面積〕六畝	〔面積〕六○	ノ本破損ヵ。ア本による。
89	2	9オ	8	〔小村名〕ひかしの	〔小村名〕ひかし	〔小村名〕ひがしの	いずれも同義。
90	3	10オ	2	〔小村名〕はたかり	〔小村名〕はたもり	〔小村名〕同○こ	判断不能。
91	3	10オ	2	〔名請人〕伊助	〔名請人〕伊介	キ本と同じ。	いずれも同義。
92	3	10オ	5	〔小村名〕あかはな	〔小村名〕あか花	キ本と同じ。	いずれも同義。
93	3	10オ	8	〔面積〕二□	〔面積〕二反	ア本と同じ。	ノ本破損ヵ。ア本による。
94	3	10ウ	1	〔面積〕□□□八歩	〔面積〕三畝拾八歩	〔面積〕○　八歩	ノ本破損ヵ。ア本による。
95	3	10ウ	2	〔小村名〕あか花	〔小村名〕あかばな	〔小村名〕-	いずれも同義。
96	3	10ウ	3	〔名請人〕太衛門	〔名請人〕太左衛門	〔名請人〕左衛門	ア本によるべきヵ。
97	3	11オ	1	〔分米〕二石二升	〔分米〕二石二斗	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
98	3	11オ	8	〔面積〕□□	〔面積〕壱反	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。
99	3	11ウ	1	〔面積〕□□	〔面積〕壱反	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。
100	3	11ウ	3	〔面積〕一畝	〔面積〕(合点)壱畝	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
101	3	11ウ	3	〔分米〕(合点)あつき　四升	〔分米〕-	〔分米〕あづき　四升	等級「あれ」、次筆と勘案してア本による。
102	3	11ウ	4	〔面積〕一畝	〔面積〕(合点)一畝	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
103	3	11ウ	4	〔分米〕あつき　四升	〔分米〕(合点)あつき　四升	〔分米〕四升	判断不能。
104	3	11ウ	5	〔面積〕一畝	〔面積〕(合点)壱畝	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
105	3	11ウ	5	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
106	3	11ウ	6	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
107	3	11ウ	8	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
108	3	12オ	3	〔等級注記〕はたけ	〔等級〕-	ア本と同じ。	判断不能。
109	3	12オ	3	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
110	3	12オ	5	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
111	3	12オ	8	〔面積〕□□□畝	〔面積〕貳反八畝	〔面積〕○　畝	ノ本破損ヵ。ア本による。
112	3	12ウ	1	〔面積〕□□	〔面積〕壱反	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。
113	3	12ウ	2	〔分米〕(合点)ひへ　五升	〔分米〕ひへ　五升	〔分米〕ひへ　五升	判断不能。
114	3	12ウ	5	〔名請人〕猪助	〔名請人〕猪介	〔名請人〕猿助	キ本・ア本いずれも同義。これらによる。
115	3	12ウ	奥書	惣つシ	惣て	惣□し	判断不能。
116	4	13オ	2	〔面積〕一反廿四歩	〔面積〕一畝廿四歩	〔面積〕一反二四歩	斗代よりア本が妥当。
117	4	13オ	4	〔字名〕うめわら	〔字名〕うめはら	キ本と同じ。	近代小字「梅原」あり。いずれも同義。
118	4	13オ	5	〔字名〕しかはな	〔字名〕同	〔字名〕志ろわな	判断不能。
119	4	13オ	5	〔面積〕二反三畝	〔面積〕二反弐畝	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
120	4	13オ	5	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
121	4	13オ	6	〔小村名〕ひわの	〔小村名〕ひはの	〔小村名〕ひ者(ば)の	近代中字「日場」よりア本が妥当。
122	4	13オ	7	〔字名〕掃谷口	〔字名〕西谷口	〔字名〕○谷口	判断不能。
123	4	13オ	7	〔小村名〕あかわな	〔小村名〕あかはな	〔小村名〕あか(者)はな	ア本による。
124	4	13オ	8	〔字名〕やまの	〔字名〕やまそい	キ本と同じ。	判断不能。
125	3	13オ	8	〔面積〕□□	〔面積〕六畝	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。
126	4	13オ	8	〔名請人〕やまの下	〔名請人〕やま祢下(分ヵ)	キ本と同じ。	ア本による。
127	4	13ウ	1	〔字名〕しも□□	〔字名〕し□(もヵ)の村	〔字名〕不○	ノ本破損ヵ。判断不能。
128	4	13ウ	1	〔面積〕□□	〔面積〕五反	〔面積〕○○	ノ本破損ヵ。ア本による。
129	4	13ウ	1	〔等級注記〕此内一反下々	〔面積〕此内一反下	〔等級注記〕一反下々	斗代よりキ本によるべきヵ。
130	4	13ウ	3	〔分米〕一斗五升	〔分米〕一石五斗	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
131	4	13ウ	5	〔字名〕同はうき谷	〔字名〕同はうき谷	〔字名〕い者るき谷	キ本・ア本による。
132	4	13ウ	8	〔字名〕かミの村	〔字名〕かミの村	〔字名〕うえの村	キ本・ア本によるべきヵ。
133	4	14オ	4	〔字名〕むかいたいら	〔字名〕むかいたいち	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
134	4	14オ	4	〔名請人〕しゆろう	〔名請人〕■ろう(■は「志」と「ゆ」の合字ヵ。以下同じ。)	〔名請人〕志○郎	近代小字「主楼谷」よりキ本が妥当。
135	4	14オ	8	〔面積〕□□	〔面積〕三畝	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。
136	4	14ウ	1	〔面積〕□□	〔面積〕四畝	ア本と同じ。	ノ本破損ヵ。ア本による。
137	4	14ウ	1	〔名請人〕しゆろう	〔名請人〕■ろう	〔名請人〕同人	近代小字「主楼谷」よりキ本が妥当。
138	4	14ウ	3	〔名請人〕まつりてん	〔名請人〕まへりてん	キ本と同じ。	キ本による。
139	4	14ウ	4	〔名請人〕しゆろう	〔名請人〕■ろう	〔名請人〕く四郎	近代小字「主楼谷」よりキ本が妥当。
140	4	14ウ	5	〔字名〕奥山	〔字名〕おくやま	キ本と同じ。	いずれも同義。
141	4	14ウ	7	〔等級〕此内一反半上／一反二畝下	〔等級〕此内一反半二／一反畝下	〔等級〕○○一反半上／一反二畝下	キ本による。
142	4	14ウ	7	〔名請人〕しゆろう	〔名請人〕■ろう	〔名請人〕く四郎	近代小字「主楼谷」よりキ本が妥当。
143	4	14ウ	8	〔分米〕一斗五升	〔分米〕(合点)あつき一斗五升	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
144	4	15オ	1	〔名請人〕山祢	〔名請人〕やま祢	キ本と同じ。	いずれも同義。
145	4	15オ	2	〔名請人〕山祢	〔名請人〕やま祢	〔名請人〕同人	いずれも同義。
146	4	15オ	3	〔字名〕同うへの	〔字名〕同こへの	キ本と同じ。	判断不能。
147	4	15オ	4	〔字名〕うへの	〔字名〕こへの	〔字名〕うえへの	判断不能。
148	4	15オ	7	〔分米〕○ひへ二升	〔分米〕(合点)ひへ二升	〔分米〕ひへ　二升	判断不能。
149	4	15オ	8	〔字名〕同はし	〔字名〕同	〔字名〕同○	判断不能。
150	4	15オ	8	〔面積〕□□□	〔面積〕十八歩	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。
151	4	15ウ	1	〔字名〕□	〔字名〕同	キ本と同じ。	ノ本破損ヵ。ア本による。
152	4	15ウ	1	〔面積〕□□□	〔面積〕十八歩	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。

件番	分冊	丁数	筆数	キ本	ア本	【参考】ノ本小西氏翻刻	妥当性の判断
153	4	15ウ	4	〔字名〕前田	〔字名〕お田	〔字名〕〇田	判断不能。
154	4	15ウ	5	〔分米〕壱斗二升	〔分米〕壱石弐斗	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
155	4	16オ	1	〔名請人〕やまね	〔名請人〕やま祢	〔名請人〕やま手	キ本・ア本同義。これらによる。
156	4	16オ	2	〔字名〕すかうの下	〔字名〕まかうの下	〔字名〕まうの下	判断不能。
157	4	16オ	5	〔等級〕な	〔等級〕反	キ本と同じ。	判断不能。
158	4	16オ	6	〔等級〕な	〔等級〕反	キ本と同じ。	判断不能。
159	4	16オ	6	〔名請人〕やまね	〔名請人〕やま祢	〔名請人〕やま手	キ本・ア本同義。これらによる。
160	4	16オ	6	〔分米〕一斗九升五合	〔分米〕一石九斗五合	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
161	4	16オ	7	〔字名〕-	〔字名〕同	ア本と同じ。	ア本によるべきヵ。
162	4	16オ	7	〔等級〕な	〔等級〕反	キ本と同じ。	判断不能。
163	4	16オ	8	〔字名〕-	〔字名〕同	ア本と同じ。	ア本によるべきヵ。
164	4	16オ	8	〔面積〕□□	〔面積〕二畝	〔面積〕〇	ノ本破損ヵ。ア本による。
165	4	16ウ	1	〔面積〕□□	〔面積〕六畝	この筆なし。	ノ本破損ヵ。ア本による。
166	4	16ウ	2	〔名請人〕やまね	〔名請人〕やま祢	〔名請人〕やま手	キ本・ア本同義。これらによる。
167	4	16ウ	3	〔字名〕同はたけ	〔字名〕同はこす	〔字名〕同者〇	判断不能。
168	4	16ウ	4	〔等級〕な	〔等級〕反	キ本と同じ。	判断不能。
169	4	16ウ	4	〔名請人〕やまね	〔名請人〕やま祢	〔名請人〕やま手	キ本・ア本同義。これらによる。
170	4	16ウ	7	〔名請人〕やまね	〔名請人〕やま祢	〔名請人〕やま手	キ本・ア本同義。これらによる。
171	4	17オ	1	〔小村名〕-	〔小村名〕あか花	キ本と同じ。	判断不能。
172	4	17オ	2	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	判断不能。
173	4	17オ	2	〔分米〕二石弐斗二升	〔分米〕二石一斗二升	キ本と同じ。	三本いずれも1石9斗2升の誤写ヵ。
174	4	17オ	3	〔字名〕下た	〔字名〕下田	ア本と同じ。	いずれも同義。
175	4	17オ	4	〔字名〕おかた	〔字名〕おか田	〔字名〕お〇	いずれも同義。
176	4	17オ	4	〔名請人〕多中	〔名請人〕たなか	キ本と同じ。	いずれも同義。
177	4	17オ	8	〔字名〕ゑの下	〔字名〕ゑのかき	〔字名〕ゑのした	判断不能。
178	4	17オ	8	〔面積〕一□□□	〔面積〕一畝十八歩	〔面積〕〇	ノ本破損ヵ。ア本による。
179	4	17オ	8	〔名請人〕多中	〔名請人〕たなか	キ本と同じ。	いずれも同義。
180	4	17ウ	1	〔字名〕い祢□□□	〔字名〕い祢かい□	〔字名〕い祢〇	ノ本破損ヵ。いずれも同義ヵ。
181	4	17ウ	1	〔等級〕-	〔等級〕上	キ本と同じ。	ア本による。
182	4	17ウ	1	〔小村名〕あか花	〔小村名〕あかはな	キ本と同じ。	いずれも同義。
183	4	17ウ	1	〔名請人〕やまね	〔名請人〕やま祢	〔名請人〕やま手	キ本・ア本同義。これらによる。
184	4	17ウ	2	〔等級〕-	〔等級〕下々	キ本と同じ。	ア本による。
185	4	17ウ	2	〔名請人〕田中	〔名請人〕たなか	キ本と同じ。	いずれも同義。
186	4	17ウ	3	〔等級〕-	〔等級〕あさ	キ本と同じ。	ア本による。
187	4	17ウ	4	〔等級〕-	〔等級〕下々	キ本と同じ。	ア本による。
188	4	17ウ	5	〔字名〕い祢かいのおく	〔字名〕い祢のおく	〔字名〕同祢かいのおく	判断不能。
189	4	17ウ	5	〔等級〕-	〔等級〕下々	キ本と同じ。	ア本による。
190	4	17ウ	5	〔小村名〕あか花	〔小村名〕あかはな	キ本と同じ。	いずれも同義。
191	4	17ウ	5	〔名請人〕田中	〔名請人〕たなか	キ本と同じ。	いずれも同義。
192	4	17ウ	6	〔等級〕-	〔等級〕下々	キ本と同じ。	ア本による。
193	4	17ウ	7	〔等級〕-	〔等級〕下	キ本と同じ。	ア本による。
194	4	17ウ	7	〔小村名〕ひわの	〔小村名〕-	〔小村名〕ひ王(わ)の	キ本による。
195	4	17ウ	8	〔字名〕こへはたけ	〔字名〕同	〔字名〕へ〇〇〇	キ本・ア本いずれも同義。キ本17丁ウラ最終筆。ア本は5筆目。
196	4	17ウ	8	〔等級〕	〔等級〕下々	キ本と同じ。	ア本による。キ本17丁ウラ最終筆。ア本は5筆目。
197	4	17ウ	8	〔小村名〕ひわの	〔小村名〕ひはの	〔小村名〕-	ア本による。キ本17丁ウラ最終筆。ア本は5筆目。
198	4	18オ	2	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	判断不能。
199	4	18オ	4	〔字名〕まる山のこし	〔字名〕まるやまこし	〔字名〕同	いずれも同義。
200	4	18オ	4	〔等級〕中	〔等級〕中下々	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
201	4	18オ	4	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
202	4	18オ	6	〔名請人〕やまね	〔名請人〕やま祢	〔名請人〕やま手	キ本・ア本同義。これらによる。
203	4	18オ	奥書	惣つし	惣	惣□	判断不能。
204	4	18オ	奥書	□□十一日	八月十一日	八月十一日	ノ本破損ヵ。ア本による。
205	4	18オ	奥書	八十八石／九斗八升五合	八十八石	八十八石九斗八升五合	キ本による。
206	4	18ウ	奥書	弐石三斗四升り	二石三斗四升り	二石三斗四升り	三本ともに「り」は「也」ヵ。
207	4	18ウ	奥書	さこく壱石三斗八升五合り	ざこく一石三斗八升五合り	さこく一石三斗八升五合り	三本ともに「り」は「也」ヵ。
208	4	18ウ	奥書	あかわな	あかはな	ア本と同じ。	ア本による。
209	5	15オ	1	〔字名〕いかふけ	〔字名〕とうけ	〔字名〕同ふけ	ア本によるべきヵ。
210	5	19オ	1	〔小村名〕あか花	〔小村名〕あかはな	キ本と同じ。	いずれも同義。
211	5	19オ	1	〔名請人〕太郎右衛門	〔名請人〕太郎右衛門	〔名請人〕太郎左衛門	キ本・ア本によるべきヵ。
212	5	19オ	4	〔分米〕-	〔分米〕「一石三斗」(貼紙抹消)	キ本と同じ。	判断不能。
213	5	19オ	4	〔名請人〕八郎五郎　うセ人	〔名請人〕八郎五郎　セ人	キ本と同じ。	キ本による。
214	5	19オ	5	〔名請人〕彦二郎　佃(ヵ)／二郎三郎	〔名請人〕彦治郎　佃(ヵ)	〔名請人〕彦二郎　個　二郎三郎	判断不能。
215	5	19オ	6	〔名請人〕二郎五郎	〔名請人〕二郎三郎／二郎五郎	キ本と同じ。	判断不能。
216	5	19オ	7	〔名請人〕二郎三郎	〔名請人〕二郎五郎	キ本と同じ。	判断不能。
217	5	19オ	8	〔面積〕二□□□	〔面積〕二畝十二歩	〔面積〕〇	ノ本破損ヵ。ア本による。
218	5	19ウ	1	〔面積〕二□	〔面積〕二畝	〔面積〕二〇	ノ本破損ヵ。ア本による。
219	5	19ウ	2	〔名請人〕五郎右衛門	〔名請人〕五郎衛門	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
220	5	19ウ	3	〔分米〕三斗(抹消)八斗	〔分米〕八斗	ア本と同じ。	ア本によるべきヵ。
221	5	19ウ	5	〔字名〕ことふけ口	〔字名〕ことうけくち	〔字名〕こふけ口	キ本・ア本いずれも同義。これらによる。
222	5	19ウ	6	〔等級〕下々あれ	〔等級〕下あれ	キ本と同じ。	判断不能。
223	5	19ウ	6	〔名請人〕与二郎	〔名請人〕与二郎〇	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
224	5	19ウ	8	〔字名〕みつこし口	〔字名〕みつこし	〔字名〕見(み)つこし口	判断不能。
225	5	19ウ	8	〔名請人〕太衛門	〔名請人〕(合点)太郎衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
226	5	20オ	2	〔名請人〕彦右衛門	〔名請人〕彦衛門〇	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
227	5	20オ	3	〔名請人〕左衛門二郎	〔名請人〕左衛門二郎〇	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
228	5	20オ	4	〔字名〕はたの谷	〔字名〕は□□谷	〔字名〕王(わ)きの谷	キ本によるべきヵ。

件番	分冊	丁数	筆数	キ本	ア本	【参考】ノ本小西氏翻刻	妥当性の判断
229	5	20オ	4	〔名請人〕与三郎	〔名請人〕与三郎〇	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
230	5	20オ	6	〔名請人〕彦衛門	〔名請人〕彦衛門〇	〔名請人〕者衛門	ア本によるべきヵ。
231	5	20オ	8	〔面積〕一□□八歩	〔面積〕一畝十八歩	この筆なし。	ノ本破損ヵ。ア本による。
232	5	20ウ	1	〔字名〕は□□□	〔字名〕はた□(かヵ)谷	〔字名〕〇〇	ノ本破損ヵ。ア本による。
233	5	20ウ	1	〔面積〕一□九畝	〔面積〕一反九畝	〔面積〕九畝	ノ本破損ヵ。ア本による。
234	5	20ウ	3	〔等級〕下々あれ少配	〔等級〕下々あれ反	〔等級〕下々あれ〇〇	ア本によるべきヵ。
235	5	20ウ	4	〔字名〕岡田	〔字名〕おか田	キ本と同じ。	いずれも同義。
236	5	20ウ	4	〔名請人〕与二郎	〔名請人〕与二郎〇	〔名請人〕与三郎　※この筆重複あり。	ア本によるべきヵ。
237	5	20ウ	6	〔字名〕岡田	〔字名〕おか田	キ本と同じ。	いずれも同義。
238	5	20ウ	6	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
239	5	20ウ	6	〔名請人〕四郎兵衛	〔名請人〕四郎兵衛〇	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
240	5	20ウ	7	〔名請人〕彦衛門	〔名請人〕彦衛門〇	〔名請人〕者(ルビ「ひさ」)衛門	ア本によるべきヵ。
241	5	20ウ	8	〔字名〕岡田	〔字名〕おかた	キ本と同じ。	いずれも同義。
242	5	20ウ	8	〔名請人〕彦太郎	〔名請人〕彦衛門ハ	〔名請人〕者太郎	名請人名はキ本・ア本いずれが是か判断不能。名請人下の記号はア本によるべきヵ。
243	5	21オ	1	〔字名〕谷田	〔字名〕おかた	キ本と同じ。	判断不能。
244	5	21オ	1	〔名請人〕彦衛門	〔名請人〕彦衛門〇	〔名請人〕者衛門	ア本によるべきヵ。
245	5	21オ	2	〔名請人〕太衛門	〔名請人〕太郎衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
246	5	21オ	3	〔名請人〕二郎五郎	〔名請人〕二郎三郎	キ本と同じ。	判断不能。
247	5	21オ	4	〔字名〕岡田	〔字名〕おか田	キ本と同じ。	いずれも同義。
248	5	21オ	4	〔名請人〕彦衛門	〔名請人〕彦衛門〇	〔名請人〕者衛門	ア本によるべきヵ。
249	5	21オ	5	〔字名〕きとくち	〔字名〕きと口	キ本と同じ。	いずれも同義。
250	5	21オ	5	〔名請人〕五郎左衛門	〔名請人〕五郎左衛門〇	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
251	5	21オ	7	〔名請人〕太衛門	〔名請人〕太郎衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
252	5	21オ	8	〔面積〕□□	〔面積〕七畝	〔面積〕-	ノ本破損ヵ。ア本による。
253	5	21オ	8	〔等級〕下	〔等級〕中	キ本と同じ。	斗代よりア本が妥当。
254	5	21ウ	1	〔面積〕一□	〔面積〕一反	〔面積〕〇	ノ本破損ヵ。ア本による。
255	5	21ウ	2	〔等級注記〕そはくわの木有	〔等級注記〕そハくわの木有	〔等級注記〕そ王(ばく王(わ)の木有)	いずれも同義。
256	5	21ウ	3	〔字名〕上のかいち	〔字名〕上ノかいち	キ本と同じ。	いずれも同義。
257	5	21ウ	3	〔名請人〕太衛門	〔名請人〕太郎衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
258	5	21ウ	5	〔字名〕すとくち	〔字名〕木とくち	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
259	5	21ウ	6	〔等級〕下々(抹消)上	〔等級〕上	〔等級〕下同	ア本によるべきヵ。
260	5	21ウ	8	〔字名〕同	〔字名〕-	キ本と同じ。	キ本による。
261	5	21ウ	8	〔等級〕(合点)あつき　下々	〔等級〕下々	〔等級〕あつき　下々	判断不能。
262	5	21ウ	8	〔分米〕三升	〔分米〕(合点)あつき三升	キ本と同じ。	判断不能。
263	5	22オ	1	〔字名〕屋しきかり	〔字名〕やしきかり	キ本と同じ。	いずれも同義。
264	5	22オ	3	〔字名〕屋しきかり	〔字名〕やしきかり	〔字名〕屋しきうし里	いずれも同義。
265	5	22オ	3	〔面積〕-	〔面積〕一畝	キ本と同じ。	ア本による。
266	5	22オ	3	〔等級注記〕ひへ	〔等級注記〕-	キ本と同じ。	判断不能。
267	5	22オ	5	〔面積〕二畝	〔面積〕二畝十八歩	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
268	5	22オ	5	〔等級注記〕くわの木おし	〔等級注記〕くわの木少し	〔等級注記〕具王の木おこし	キ本・ア本いずれが妥当か判断不能。
269	5	22オ	5	〔分米〕二斗	〔分米〕〇ひへ二斗	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
270	5	22オ	5	〔小村名〕あかはな	〔小村名〕同あかはな	〔小村名〕-	キ本によるべきヵ。
271	5	22オ	5	〔名請人〕五郎左衛門	〔名請人〕五郎左衛門〇	〔名請人〕五左衛門	ア本によるべきヵ。
272	5	22オ	6	〔名請人〕彦衛門	〔名請人〕彦衛門〇	〔名請人〕者衛門	ア本によるべきヵ。
273	5	22オ	8	〔字名〕そいたにくち	〔字名〕そいたにくち	〔字名〕どうかき／そいたにくち	キ本・ア本による。ノ本は翻刻者の注記ヵ。
274	5	22オ	8	〔字名〕そいのくほ	〔字名〕そいたにくち	〔字名〕そいがく分	キ本・ア本いずれが妥当か判断不能。
275	5	22オ	8	〔面積〕□□□畝	〔面積〕一反一畝	〔面積〕〇畝	ノ本破損ヵ。ア本による。
276	6	23オ	1	〔名請人〕太左衛門	〔名請人〕太郎左衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
277	6	23オ	3	〔字名〕ふくてんの向	〔字名〕ふくてん田	〔字名〕ふくてんの向かい	判断不能。
278	6	23オ	3	〔小村名〕かミたうかき	〔小村名〕かミたうかき	〔小村名〕うえたうかき	キ本・ア本によるべきヵ。
279	6	23オ	4	〔字名〕くさしは	〔字名〕-	〔字名〕くさし王	キ本による。
280	6	23オ	5	〔名請人〕太郎右衛門	〔名請人〕太郎右衛門	〔名請人〕太郎左衛門	キ本・ア本によるべきヵ。
281	6	23オ	7	〔字名〕むかいうち	〔字名〕むかいふち	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
282	6	23オ	7	〔名請人〕助二郎	〔名請人〕助治郎	キ本と同じ。	いずれも同義。
283	6	23オ	8	〔面積〕□□□	〔面積〕二反半	〔面積〕二反〇	ノ本破損ヵ。ア本による。
284	6	23オ	8	〔小村名〕上のかき	〔小村名〕上ノかき	〔小村名〕-	キ本・ア本いずれも同義。これらによる。
285	6	23ウ	1	〔字名〕□□	〔字名〕そね田	〔字名〕そ手た	ノ本破損ヵ。ア本による。
286	6	23ウ	2	〔分米〕一石四升	〔分米〕一石四斗	〔分米〕一石四斗	斗代よりキ本が妥当。
287	6	23ウ	3	〔分米〕一石弐升	〔分米〕一石弐斗	〔分米〕一石二斗	斗代よりキ本が妥当。
288	6	23ウ	4	〔小村名〕おくとうかき	〔小村名〕おく道かき	キ本と同じ。	いずれも同義。
289	6	23ウ	4	〔名請人分付〕下彦太郎	〔名請人分付〕分彦太郎	〔名請人分付〕下者(ルビ「ひさ」)太郎	ア本による。
290	6	23ウ	5	〔小村名〕同	〔小村名〕-	〔小村名〕-	キ本によるべきヵ。
291	6	23ウ	8	〔字名〕たうの下	〔字名〕どうの下	キ本と同じ。	いずれも同義。
292	6	23ウ	8	〔名請人分付〕下彦太郎	〔名請人分付〕分彦太郎	〔名請人分付〕下者太郎	ア本による。
293	6	24オ	2	〔字名〕わたのせ	〔字名〕わたのセ	〔字名〕〇こかせ	キ本・ア本いずれも同義。
294	6	24オ	2	〔小村名〕たうかき	〔小村名〕道かき	キ本と同じ。	いずれも同義。
295	6	24オ	3	〔小村名〕うへのかき	〔小村名〕上の垣	キ本と同じ。	いずれも同義。
296	6	24オ	5	〔名請人分付〕下彦衛門	〔名請人分付〕分彦太郎	〔名請人分付〕者衛門	「分」はア本による。名請人名はキ本・ア本いずれが是か判断不能。
297	6	24オ	7	〔名請人分付〕下彦太郎	〔名請人分付〕分彦太郎	〔名請人分付〕-	ア本による。
298	6	24オ	8	〔字名〕□	〔字名〕同	ア本と同じ。	ノ本破損ヵ。ア本による。
299	6	24オ	8	〔面積〕□□十八歩	〔面積〕三畝十八歩	〔面積〕一反十八歩	ノ本破損ヵ。ア本による。
300	6	24オ	8	〔小村名〕きたノ	〔小村名〕きたの	〔小村名〕きこ(た)ノ	キ本・ア本いずれも同義。
301	6	24オ	8	〔名請人〕四郎兵衛	〔名請人〕四郎兵へ	キ本と同じ。	いずれも同義。
302	6	24オ	8	〔分米〕四斗五合	〔分米〕四斗五合	キ本と同じ。	三本いずれも4斗5升5合の誤写ヵ。
303	6	24ウ	1	〔字名〕かい□	〔字名〕かいち	〔字名〕同者	ノ本破損ヵ。ア本による。

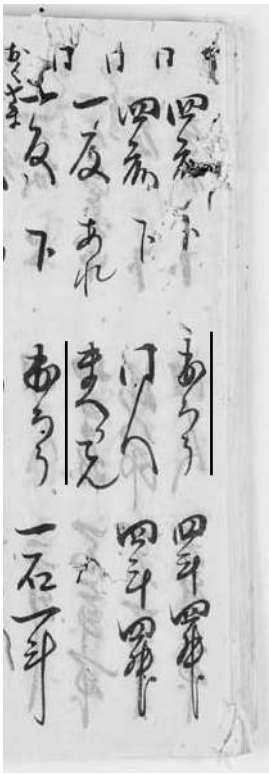
件番	分冊	丁数	筆数	キ本	ア本	【参考】ノ本小西氏翻刻	妥当性の判断
304	6	24ウ	1	〔面積〕□	〔面積〕半	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。
305	6	24ウ	1	〔小村名〕たにノ	〔小村名〕たにの	〔小村名〕たにの	いずれも同義。
306	6	24ウ	2	〔小村名〕きたゝ	〔小村名〕さたの	〔小村名〕○この	キ本が最も妥当。「きたノ」ヵ。
307	6	24ウ	4	〔字名〕同	〔字名〕-	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
308	6	24ウ	4	〔名請人〕五郎右衛門	〔名請人〕五郎左衛門	キ本と同じ。	判断不能。
309	6	24ウ	5	〔字名〕むめかさこ	〔字名〕むめがさこ	ア本と同じ。	いずれも同義。
310	6	24ウ	5	〔小村名〕むめざこ	〔小村名〕-	〔小村名〕むめがざこ	キ本・ノ本いずれも同義。これらによる。
311	6	24ウ	6	〔小村名〕同	〔小村名〕-	〔小村名〕-	キ本によるべきヵ。
312	6	24ウ	6	〔名請人分付〕下二郎三郎	〔名請人分付〕分二郎三郎	キ本と同じ。	ア本による。
313	6	24ウ	8	〔等級〕上	〔等級〕中	キ本と同じ。	斗代よりア本が妥当。
314	6	24ウ	8	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
315	6	24ウ	8	〔名請人〕二郎五郎	〔名請人〕二郎三郎	キ本と同じ。	判断不能。
316	6	25オ	1	〔名請人〕太左衛門	〔名請人〕太郎左衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
317	6	25オ	3	〔字名〕同	〔字名〕同ゑの下	キ本と同じ。	判断不能。
318	6	25オ	3	〔小村名〕あか花	〔小村名〕あかはな	キ本と同じ。	いずれも同義。
319	6	25オ	4	〔字名〕ゑの下	〔字名〕-	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
320	6	25オ	5	〔面積〕三反	〔面積〕三畝	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
321	6	25オ	5	〔小村名〕祢こり	〔小村名〕-	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
322	6	25オ	6	〔小村名〕すけ谷	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
323	6	25オ	6	〔名請人〕太左衛門	〔名請人〕太郎左衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
324	6	25オ	7	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
325	6	25オ	7	〔名請人〕二郎五郎	〔名請人〕二郎三郎	ア本と同じ。	判断不能。
326	6	25オ	8	〔面積〕□□□八歩	〔面積〕二畝十八歩	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。
327	6	25オ	8	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
328	6	25オ	8	〔名請人注記〕太郎左衛門と有	〔名請人注記〕太郎左衛門こ(とヵ)あり	〔名請人注記〕太郎左衛門○○	キ本による。
329	6	25ウ	1	〔字名〕-	〔字名〕同	ア本と同じ。	ア本・ノ本による。
330	6	25ウ	1	〔面積〕半□八歩	〔面積〕半十八歩	〔面積〕半一八歩	ノ本破損ヵ。ア本による。
331	6	25ウ	1	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	ア本によるべきヵ。
332	6	25ウ	2	〔字名〕-	〔字名〕同	ア本と同じ。	ア本・ノ本による。
333	6	25ウ	2	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
334	6	25ウ	3	〔字名〕-	〔字名〕同	ア本と同じ。	ア本・ノ本による。
335	6	25ウ	4	〔字名〕-	〔字名〕同	ア本と同じ。	ア本・ノ本による。
336	6	25ウ	5	〔字名〕-	〔字名〕同	ア本と同じ。	ア本・ノ本による。
337	6	25ウ	5	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
338	6	25ウ	5	〔名請人注記〕太郎左衛門と有	〔名請人注記〕太郎左衛門こ(とヵ)あり	〔名請人注記〕太郎左衛門と里	キ本による。
339	6	25ウ	6	〔字名〕-	〔字名〕同	ア本と同じ。	ア本・ノ本による。
340	6	25ウ	6	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
341	6	25ウ	7	〔字名〕-	〔字名〕同	ア本と同じ。	ア本・ノ本による。
342	6	25ウ	8	〔字名〕-	〔字名〕同	ア本と同じ。	いずれも同義。
343	6	25ウ	8	〔小村名〕にしノ	〔小村名〕にしの	〔小村名〕○○ノ	キ本・ア本いずれも同義。
344	6	25ウ	8	〔名請人〕太右衛門	〔名請人〕太郎右衛門	〔名請人〕太左衛門	ア本によるべきヵ。
345	6	26オ	1	〔分米〕三斗二升五合	〔分米〕七斗壱升五合	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
346	6	26オ	2	〔名請人〕太右衛門	〔名請人〕太郎右衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
347	6	26オ	4	〔名請人〕太右衛門	〔名請人〕太郎右衛門	〔名請人〕同人	ア本によるべきヵ。
348	6	26オ	6	〔等級注記〕-	〔等級注記〕あつき	キ本と同じ。	判断不能。
349	6	26オ	6	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
350	6	26オ	奥書	七升弐合り(也ヵ)	七升弐合	七升弐合○	キ本によるべきヵ。
351	6	26オ	奥書	□□内	右之内	ア本と同じ。	ア本による。
352	6	26ウ	奥書	惣□合	惣都合	惣○合	ア本による。
353	6	26ウ	奥書	きやし所	きゆ所	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
354	7	27オ	表題	〔表題脇数字〕-	〔表題脇数字〕四	キ本と同じ。	ア本による。
355	7	27オ	表題	〔表題作成者〕又兵へ人之衆	〔表題作成者〕又兵へ之衆	〔表題作成者〕又兵衛人兵○	ア本による。
356	7	27ウ	1	〔小村名〕いし□□	〔小村名〕いしか谷	〔小村名〕大谷／いしが谷	ノ本破損ヵ。ア本による。ノ本の「大谷」は翻刻者の注記ヵ。
357	7	27ウ	1	〔面積〕三□	〔面積〕三畝	〔面積〕○畝	ノ本破損ヵ。ア本による。
358	7	27ウ	1	〔名請人〕太右衛門	〔名請人〕太郎右衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
359	7	27ウ	3	〔分米注記〕くわの木有	〔分米注記〕くわの木三本有	〔分米注記〕具王(ルビ「くわ」)の木有	判断不能。
360	7	27ウ	3	〔小村名〕-	〔小村名〕同	〔小村名〕-	判断不能。
361	7	27ウ	5	〔等級〕下々あれ有	〔等級〕下々あれ	〔等級〕下あれ○	キ本・ア本いずれも同義。
362	7	27ウ	5	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	判断不能。
363	7	27ウ	6	〔字名〕い賀栗	〔字名〕いがくり	〔字名〕伊賀栗	いずれも同義。
364	7	27ウ	7	〔字名〕伊賀栗	〔字名〕いがくり	〔字名〕同	いずれも同義。
365	7	28オ	3	〔名請人〕太郎衛門	〔名請人〕太郎右衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
366	7	28オ	5	〔字名〕かこま	〔字名〕かさまつ	キ本と同じ。	判断不能。
367	7	28オ	5	〔名請人〕太右衛門佃(ヵ)	〔名請人〕太郎右衛門佃(ヵ)	〔名請人〕太右衛門個	ア本によるべきヵ。
368	7	28オ	5	〔名請人注記〕二郎三郎　うつさつ	〔名請人注記〕二郎三郎　うつさす	〔名請人注記〕二郎五郎　うつさつ	キ本・ア本によるべきヵ。
369	7	28オ	6	〔名請人〕太右衛門	〔名請人〕太郎右衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
370	7	28オ	7	〔面積〕二畝	〔面積〕二畝廿歩	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
371	7	28オ	8	〔面積〕一□□畝	〔面積〕一反二畝	〔面積〕一反○畝	ノ本破損ヵ。ア本による。
372	7	28ウ	1	〔小村名〕同	〔小村名〕同	〔小村名〕いしが谷	ノ本は前丁の記述混入ヵ。キ本・ア本による。
373	7	28ウ	1	〔名請人〕太右衛門	〔名請人〕二郎右衛門	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
374	7	28ウ	3	〔字名〕小熊谷	〔字名〕北熊谷	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
375	7	28ウ	3	〔小村名〕熊谷ノ	〔小村名〕熊谷	キ本と同じ。	いずれも同義。
376	7	28ウ	4	〔等級〕あれ有	〔等級〕下々あれ有	〔等級〕あれ○	判断不能。
377	7	28ウ	6	〔小村名〕駒谷ノ	〔小村名〕-	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
378	7	29オ	1	〔小村名〕熊谷ノ	〔小村名〕熊谷	キ本と同じ。	いずれも同義。

件番	分冊	丁数	筆数	キ本	ア本	【参考】ノ本小西氏翻刻	妥当性の判断
379	7	29オ	2	〔等級注記〕-	〔等級注記〕くるわ（くりくわヵ）の木二本	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
380	7	29オ	2	〔分米〕三升	〔分米〕三斗	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
381	7	29オ	3	〔字名〕いゑのした	〔字名〕いゑの下	キ本と同じ。	いずれも同義。
382	7	29オ	3	〔名請人〕四郎兵へ	〔名請人〕四郎兵衛	〔名請人〕四郎兵衛	いずれも同義。
383	7	29オ	4	〔字名〕うしろの谷	〔字名〕うしろか谷	キ本と同じ。	いずれも同義。
384	7	29オ	6	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	判断不能。
385	7	29オ	7	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	判断不能。
386	7	29オ	8	〔字名〕むかいち	〔字名〕むかいち	〔字名〕むへかいち	キ本・ア本によるべきヵ。
387	7	29オ	8	〔等級注記〕くわの木有	〔等級注記〕くるわ（くりくわヵ）の木有	〔等級注記〕具王の木○	判断不能。
388	7	29オ	9	〔字名〕岡□□□□□	〔字名〕おかのかいち	〔字名〕岡○	ノ本破損ヵ。ア本による。いずれも同義。※この筆ア本は29ウ1筆目にあり。以下31ウまで一筆ずつずれ。
389	7	29オ	9	〔面積〕□□	〔面積〕二畝	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。※この筆ア本は29ウ1筆目にあり。以下31ウまで一筆ずつずれ。
390	7	29オ	9	〔等級注記〕あさ　くわの木大木十八本有	〔等級注記〕あさ　くるわ（くりくわヵ）の大木十八本有	〔等級注記〕あさ　具王の木大木一八本有	判断不能。※この筆ア本は29ウ1筆目にあり。以下31ウまで一筆ずつずれ。
391	7	29ウ	1	〔面積〕一□十八歩	〔面積〕一畝十八歩	〔面積〕二○八歩	キ本・ア本による。
392	7	29ウ	1	〔等級注記〕くわの木大木十五本有	〔等級注記〕くるわ（くりくわヵ）の大木十六本	〔等級注記〕具王の木大木十五本有	判断不能。
393	7	29ウ	1	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
394	7	29ウ	2	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
395	7	29ウ	4	〔等級〕上	〔等級〕-	キ本と同じ。	分米よりキ本が妥当。
396	7	29ウ	4	〔等級注記〕あさくわの木十五本大木	〔等級注記〕くるわ（くりくわヵ）の大十六本	〔等級注記〕あさ具王の木十五本大木	判断不能。
397	7	29ウ	5	〔分米〕一石四升	〔分米〕一石四斗	ア本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
398	7	29ウ	5	〔小村名〕岡田	〔小村名〕おかの	キ本と同じ。	判断不能。
399	7	29ウ	5	〔名請人〕太左衛門	〔名請人〕太郎左衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
400	7	29ウ	6	〔等級注記〕くわの木十四本	〔等級注記〕くるわ（くりくわヵ）の木十四本	〔等級注記〕具王の木十四本	判断不能。
401	7	29ウ	6	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	判断不能。
402	7	29ウ	7	〔等級注記〕あさ　くわの木有	〔等級注記〕くるわ（くりくわヵ）の木有	〔等級注記〕あさ具王の木有	判断不能。
403	7	29ウ	7	〔分米〕一斗弐升	〔分米〕一斗三升	キ本と同じ。	斗代よりア本が妥当。
404	7	29ウ	7	〔小村名〕あかはな	〔小村名〕あかばな	〔小村名〕-	いずれも同義。
405	7	30オ	8	〔字名〕いしはしのつめ	〔字名〕いしはしつめ	キ本と同じ。	いずれも同義。
406	7	30オ	1	〔字名〕岡っとう	〔字名〕おかんとう	キ本と同じ。	いずれも同義。
407	7	30オ	1	〔等級注記〕くわの木おし	〔等級注記〕くるわ（くりくわヵ）の木おし	〔等級注記〕句王の木おこし	キ本・ア本いずれも同義。
408	7	30オ	1	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	判断不能。
409	7	30オ	2	〔字名〕岡っとうノ下	〔字名〕おかんとう下	キ本と同じ。	いずれも同義。
410	7	30オ	2	〔名請人〕山ね	〔名請人〕山祢	キ本と同じ。	いずれも同義。
411	7	30オ	4	〔小村名〕あかはな	〔小村名〕あかばな	〔小村名〕-	いずれも同義。
412	7	30オ	5	〔小村名〕同	〔小村名〕-	ア本と同じ。	キ本によるべきヵ。
413	7	30オ	7	〔名請人〕太衛門	〔名請人〕太郎右衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
414	7	30ウ	8	〔面積〕一□□	〔面積〕一反半	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。
415	7	30ウ	1	〔字名〕同	〔字名〕-	〔字名〕○	キ本によるべきヵ。
416	7	30ウ	1	〔名請人注記〕-	〔名請人注記〕まん五郎	キ本と同じ。	判断不能。
417	7	30ウ	2	〔字名〕とふした	〔字名〕とうした	キ本と同じ。	いずれも同義。
418	7	30ウ	3	〔字名〕いわし	〔字名〕いしわら	〔字名〕い王く	ア本によるべきヵ。
419	7	30ウ	4	〔小村名〕あわな	〔小村名〕あかはな	〔小村名〕-	ア本による。
420	7	30ウ	5	〔等級〕下	〔等級〕下々	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
421	7	30ウ	5	〔名請人〕四郎兵へ	〔名請人〕四郎兵衛	〔名請人〕四郎三郎	いずれも同義。
422	7	30ウ	6	〔小村名〕-	〔小村名〕-	〔小村名〕東ノ	判断不能。
423	7	31オ	2	〔小村名〕あかはな	〔小村名〕あかばな	〔小村名〕-	キ本・ア本いずれも同義。
424	7	31オ	5	〔名請人〕与三郎	〔名請人〕与二郎	キ本と同じ。	判断不能。
425	7	31オ	7	〔分米〕二石四升	〔分米〕二石四斗	ア本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
426	7	31ウ	8	〔面積〕□□	〔面積〕三畝	〔面積〕○	ノ本破損ヵ。ア本による。
427	7	31ウ	1	〔字名〕こし□□	〔字名〕こしまい	〔字名〕○○	ノ本破損ヵ。ア本による。
428	7	31ウ	2	〔分米〕五斗壱升	〔分米〕五斗一升	キ本と同じ。	分米は三本とも5斗2升の誤写ヵ。
429	8	32オ	1	〔字名〕山のはな	〔字名〕やまのはな	〔字名〕山の者（ルビ「は」）な	いずれも同義。
430	8	32オ	1	〔小村名〕あかはな	〔小村名〕あかばな	〔小村名〕あか者（ルビ「は」）な	いずれも同義。
431	8	32オ	2	〔名請人〕太右衛門	〔名請人〕太郎右衛門	〔名請人〕右衛門	ア本によるべきヵ。
432	8	32オ	3	〔分米〕一石四升	〔分米〕一石四斗	ア本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
433	8	32オ	4	〔字名〕ミやま口	〔字名〕ミやまくち	〔字名〕みやま口	いずれも同義。
434	8	32オ	4	〔分米〕一石八升	〔分米〕一石八斗	ア本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
435	8	32オ	5	〔小村名〕うへのかき	〔小村名〕-	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
436	8	32オ	5	〔名請人〕助二郎	〔名請人〕助五郎	キ本と同じ。	判断不能。
437	8	32オ	6	〔字名〕ほそ谷	〔字名〕ほそか谷	〔字名〕不そ谷	いずれも同義。
438	8	32オ	6	〔小村名〕上ノかき	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本によるべきヵ。
439	8	32オ	6	〔名請人〕太右衛門	〔名請人〕太郎右衛門	キ本と同じ。	ア本によるべきヵ。
440	8	32オ	8	〔字名〕すさとう	〔字名〕すさかとう	キ本と同じ。	いずれも同義。近代小字「すさっとう」あり。
441	8	32オ	8	〔面積〕九□十八歩	〔面積〕九畝十八歩	〔面積〕九畝一八歩	ノ本破損ヵ。ア本による。
442	8	32ウ	5	〔面積〕二畝十二歩	〔面積〕二畝十八歩	〔面積〕二畝一二歩	斗代よりはキ本の方が近似。両本とも2畝10歩の誤写ヵ。
443	8	33オ	3	〔名請人〕兵へ	〔名請人〕兵衛	ア本と同じ。	いずれも同義。
444	8	33オ	6	〔小村名〕-	〔小村名〕同	キ本と同じ。	名請人空欄のためキ本が妥当。
445	8	33オ	8	〔分米〕九斗壱升	〔分米〕九斗一升	〔分米〕九斗三升	斗代よりキ本・ア本が妥当。

件番	分冊	丁数	筆数	キ本	ア本	【参考】ノ本小西氏翻刻	妥当性の判断
446	8	33ウ	1	(※翻刻通り)	-	〔名請人〕兵衛	ア本脱落。キ本による。
447	8	33ウ	2	(※翻刻通り)	-	キ本と同じ。	ア本脱落。キ本による。
448	8	33ウ	3	(※翻刻通り)	-	キ本と同じ。	ア本脱落。キ本による。
449	8	33ウ	4	(※翻刻通り)	-	キ本と同じ。	ア本脱落。キ本による。
450	8	33ウ	5	(※翻刻通り)	-	〔名請人〕兵衛	ア本脱落。キ本による。
451	8	33ウ	6	(※翻刻通り)	-	〔等級注記〕そ王あれ	ア本脱落。キ本によるべきヵ。
452	8	33ウ	7	(※翻刻通り)	-	〔等級注記〕-、〔分米〕一石四斗	ア本脱落。等級注記はキ本による。分米は斗代よりキ本が妥当。
453	8	33ウ	8	(※翻刻通り)	-	キ本と同じ。	ア本脱落。キ本による。
454	8	34オ	1	(※翻刻通り)	-	キ本と同じ。	ア本脱落。キ本による。
455	8	34オ	2	(※翻刻通り)	-	キ本と同じ。	ア本脱落。キ本による。
456	8	34オ	3	(※翻刻通り)	-	キ本と同じ。	ア本脱落。キ本による。
457	8	34オ	4	(※翻刻通り)	-	キ本と同じ。	ア本脱落。キ本による。
458	8	34オ	5	(※翻刻通り)	-	〔小村名〕-	ア本脱落。キ本によるべきヵ。
459	8	34オ	6	(※翻刻通り)	-	〔小村名〕-	ア本脱落。キ本によるべきヵ。分米はキ本・ノ本ともに2斗の誤写ヵ。
460	8	34オ	7	(※翻刻通り)	-	キ本と同じ。	ア本脱落。キ本による。
461	8	34オ	8	(※翻刻通り)	-	〔字名〕同、〔等級〕あ王　あれ有(「下々」なし)	ア本脱落。キ本によるべきヵ。
462	8	34ウ	1	〔等級〕あさ　上	〔等級〕上　あれ	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
463	8	34ウ	1	〔名請人〕助二郎	〔名請人〕助五郎	〔名請人〕同人	判断不能。
464	8	34ウ	2	〔分米〕三斗弐升五合	〔分米〕三斗六升五合	キ本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
465	8	34ウ	3	〔等級〕下	〔等級〕ひへ　下	キ本と同じ。	判断不能。
466	8	34ウ	5	〔名請人〕与次郎	〔名請人〕与三郎	キ本と同じ。	判断不能。
467	8	34ウ	6	〔小村名〕同	〔小村名〕-	キ本と同じ。	キ本によるべきヵ。
468	8	34ウ	7	〔名請人〕助二郎	〔名請人〕助五郎	キ本と同じ。	判断不能。
469	8	34ウ	8	〔字名〕いわかミ	〔字名〕いがミ谷	〔字名〕い王(ルビ「わ」)かみ	キ本によるべきヵ。
470	8	34ウ	8	〔分米〕一石四斗弐升	〔分米〕一石四斗二升	キ本と同じ。	三本ともに1石4斗3升の誤写ヵ。
471	8	35オ	4	〔字名〕へい谷	〔字名〕平谷	〔字名〕偏(へ)い谷	いずれも同義。
472	8	35オ	6	〔小村名〕同	〔小村名〕-	この筆なし。	キ本によるべきヵ。
473	8	35オ	7	〔字名〕なわての下	〔字名〕なかすの下	〔字名〕南(な)王(ルビ「わ」)ての下	判断不能。
474	8	35ウ	1	〔分米〕一石三斗	〔分米〕一石斗	この筆なし。	キ本による。
475	8	35ウ	5	〔名請人〕四郎兵へ	〔名請人〕四郎兵へ	〔名請人〕四郎三郎	キ本・ア本いずれも同義。これらによるべきヵ。
476	8	35ウ	6	〔分米〕二石八升	〔分米〕二石八斗	ア本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
477	8	35ウ	8	〔分米〕一石四升	〔分米〕一石四斗	ア本と同じ。	斗代よりキ本が妥当。
478	8	36オ	2	〔名請人〕彦三郎	〔名請人〕彦三郎	〔名請人〕者(ルビ「ひさ」)太郎	キ本・ア本いずれも同義。これらによる。
479	8	36オ	3	〔名請人〕八郎三郎	〔名請人〕八郎二郎	キ本と同じ。	判断不能。
480	8	36オ	4	〔字名〕かわはた	〔字名〕かわは田	〔字名〕か王者(ルビ「わ」)○	三本いずれも同義。

奥赤集落

中字日場付近



ア本14丁ウラ　「■ろう」

※本稿の写真は全て2020年2月13日撮影

表２　赤花帳内の各分冊

件数	分冊	筆数	明治18年の字と合致・近似する地名	明治18年の字と合致・近似する小村名	記載順	表書・奥書	摘要
1	－	－	－	－	－	天正八年／赤花村始り之御水帳「写」／辰ノ八月十一日	表紙。
2	1	16	山根（口赤花村）	きんノくら（口赤花村）	字―面積―等級―名請人―分米（A）		
3		14			A	八月十一日「-」／かミかす三まいきやし（うぁ）所五つ所／「八月十一日」	
4		0				あかはな之内／山祢ふミくち	裏白紙。
5	2	16	石川原、東、竹ケハナ、淀、今宮、小北、大ノ田、段ノ垣、栗木谷、家ノヲク、峠谷、籠谷、東谷、伊賀見谷（中赤花村）	東、菅谷、上ノ垣（中赤花村）	A		
6		16			A		
7		16			A		
8		16			A		
9		8			A		裏白紙。
10	3	16	段ノ垣、清水、すもも（中赤花村）	上ノ垣（中赤花村）	A		
11		16			A		
12		13			A	惣つシ「惣て」百三石五斗弐升二合　三十二石五升三合／さこく一石三斗二升五合／八月十二日	
13	4	16	ユリノ下、梅原、西谷、奥山、丸山（口赤花村） ※そのほか、名請人に「しゆろう坊」あり→主楼谷に比定可能	日場（口赤花村）	A		
14		16			A		
15		16			A		
16		16			A		
17		16			A		
18		6			A	惣つし「惣」百三石七斗五升三合／七十石三斗四合／八十八石九斗八升五合（ア本「九斗八升五合」なし）／□□「八月」十一日」 四口／惣合弐百五石五斗壱升四合／八十七所／ 大豆小豆共ニ／弐石三斗四升り（也ヵ）／さ「ざ」こく　壱石三斗八升五合り（也ヵ）／天正八年／八月十一日　あかわ「は」な　済二	第４分冊の筆数は86筆、奥書の所数と１筆違うのみ。
19	5	16	丸山、小峠、水越、神子谷、岡ノ田、添谷（奥赤村）	※該当なし（すべて「あかはな」）	字―面積―等級―分米―名請人（B）		
20		16			B		
21		16			B		
22		10			B	以上三十八石一斗三升五合／内さこく五斗五升　五十八所	第５分冊の筆数と奥書の所数一致。
23	6	16	梅が坂、根郡、高尾（奥赤村）	上ノ垣、根郡、菅谷（奥赤村、中赤花村） ※そのほか、「むめざこ」は「梅が坂」ヵ	A		
24		16			A		
25		16			A		
26		6			A	已上四拾五石二斗七升弐合り（也ヵ）（ア本「り」なし）／□□「右之」内二石七斗九升」惣□「都」合八十参石七斗四升弐合／此内弐石四斗七升　ひへ／かミ数七舞／きやし「きゆ」所十六也／丹羽又兵へ書判／関戸久次書判／天正八年／八月十一日	第５分冊・第６分冊の紙数と合わず。しかし石高合計は近似するため誤写ヵ。
27	7	8	石ヶ谷、イガクリ、出合、笠松、熊谷、石バシ、トチタニ、堂ノ下、和田（奥赤村、中赤花村）	熊谷、東（奥赤村、中赤花村）	B	天正八年／八月十二日／又兵へ人之衆「又兵へ之衆」／あかはな村之たふミ帳　三	ア本は綴じ目下部に「四」とあり。
28		16			B		
29		17			B		ア本は16筆。
30		16			B		
31		10			B	六十七所／以上四十四石壱斗五升／右内ひへ三斗八升五合	ア本は11筆。第７分冊の筆数と奥書の所数一致。
32	8	16	石川原、深山口、スサットウ、椿谷、下紺屋、平谷（中赤花村、奥赤村）	上ノ垣（中赤花村）	A		
33		16			A		
34		16			A		
35		16			A		
36		5			A	以上五十九石壱斗弐升七合／四口　惣合百八拾六石六斗八升四合」惣高合三百九拾弐石壱斗九升八合／天正八年／辰ノ八月十二日／すミ付三拾五まい有	裏表紙。
37	－	－	－	－	－		
	計	481					

表３　各分冊の奥書記載値と本文一筆記載からの算出値

※網掛けは奥書記載値と一筆記載からの算出値が近似するもの。

分冊	丁数	筆数	奥書丁	奥　書	奥書記載総計	奥書記載合計	奥書記載中計	奥書記載小計	一筆より算出総計	一筆より算出合計	一筆より算出中計	一筆より算出小計	摘要
0	1	0	－	（全体の表紙）	⑬392.198	－	－	－	376.946	－	－	－	
1	3（ヵ）	30	3	八月十一日「－」／かミかす三まいきやし（うヵ）所五つ／「八月十一日」		⑥205.514	⑤88.985？	－		193.472	89.996	16.771	紙数は4丁目（表題のみ）を含めれば合致。含めないと1丁不足。
2	5	72	9	（奥書なし）				－				73.225	裏白紙
3	3	45	12	惣つシ「惣て」百三石五斗弐升二合（①）　三十二石五升三合（②）／さこく一石三斗二升五合／八月十二日			①103.522？ ③103.753？	②32.053			103.476	32.822	
4	6	86	18	惣つし「惣」百三石七斗五升三合（③）／七十石三斗四合（④）／八十八石九斗八升五合（⑤）（ア本「九斗八升五合」なし）／□□「八月」十一日」四口／惣合弐百五石五斗壱升四合（⑥）／八十七所／大豆小豆共ニ／弐石三斗四升り（也ヵ）／さ「ざ」こく　壱石三斗八升五合り（也ヵ）／天正八年八月十一日　あかわ「は」な　済二				④70.304				70.654	第4冊の筆数は86筆、奥書の所数と1違うのみ
5	4	58	22	以上三十八石一斗三升五合（⑦）／内さこく五斗五升　五十八所		⑫186.684	⑨83.742	⑦38.135		183.474	83.727	38.445	筆数と奥書の所数一致
6	4	54	26	已上四拾五石二斗七升弐合り（也ヵ）（ア本「り」なし）（⑧）／□□「右之」内二石七斗九升」惣□「都」合八十参石七斗四升弐合（⑨）／此内弐石四斗七升　ひへ／かミ数七舞／きやし「きゆ」所十六也／丹羽又兵へ書判／関戸久次書判／天正八年／八月十一日				⑧45.272				45.282	第五分冊は四紙、第六分冊は四紙。「かミ数七舞」とは合わず。しかし第五分冊と第六分冊の石高合計は奥書値⑨と極めて近似する。紙数は誤写とみるべきヵ。
7	5	67	31	六十七所／以上四十四石壱斗五升（⑩）／右内ひへ三斗八升五合				⑩44.15			99.747	44.130	筆数と奥書の所数一致
8	5	69	36	以上五十九石壱斗弐升七合（⑪）／四口　惣合百八拾六石六斗八升四合（⑫）　惣高合三百九拾弐石壱斗九升八合（⑬）／天正八年／辰ノ八月十二日／すミ付三拾五まい有				⑪59.127				55.617	

地図　但馬国出石郡赤花村　基図：国土地理院電子地形図1/25000（2020年2月調製）

日場～中字
山根～小字

※口赤花村・中赤花村の中字・小字は明治18年赤花村耕宅山林図面（豊岡市立日本・モンゴル民族博物館蔵）参照。
奥赤村の中字・小字は小西信義『奥赤考』（2015年）掲載の近代地籍図（神戸地方法務局豊岡支局蔵）による。

執筆者紹介（掲載順）

藪田　貫（当館館長）

前田　徹（当館学芸員・主査）

藁科宥美（当館学芸員・技術職員）

編集後記

兵庫県立歴史博物館紀要『塵界』第三二号をお届けします。本号には、巻頭に藪田館長の論考、次に前田主査学芸員による資料紹介、末尾には令和元年夏に当館で行われた特別企画展「へんがおの世界」主担当の藁科学芸員による展示批評、の計三本を掲載しています。いずれも興味深い内容となっております。是非ご味読ください。

なお、本号より紀要のデザインを若干変更しています。おもな変更点として、①表紙・目次位置の変更、②用紙の変更、③一部カラー紙面の導入、④【資料紹介】、【展覧会記録】といった分類の多様化、⑤ＨＰ上での電子公開、の五点が挙げられます。掲載内容と併せてご覧いただけますと幸いです。

（編集担当　竹内信・大黒恵理）

兵庫県立歴史博物館紀要
塵界　第三二号

編集　兵庫県立歴史博物館
印刷　ウニスガ印刷株式会社
発行　令和三年三月二十三日

Printed in Japan©2021

02教Ⓣ1-016A 4